

(仮称)横浜環状北西線に関する アンケート調査結果

—記者発表資料—

- 横浜市と国土交通省は、平成15年6月から「(仮称)横浜環状北西線」についてP I※(パブリック・インボルブメント)手法を導入した計画検討を行っていますが、10月下旬から横浜市民や横浜市域の主要事業所等を対象としたアンケート調査を実施しました。その結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

※P Iとは：計画づくりの初期の段階から市民等の皆さまに情報提供しながら広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映させていく取り組み。

- 詳しいアンケート結果はホームページ(<http://www.yokohama-nwline.jp/>)でも公表します。

主な設問のうち「そう思う」の割合	市民	事業所等
湾岸エリアと東名高速エリアのクルマの移動が「不便」	6 6 %	8 7 %
現在の大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい	6 4 %	6 8 %
迂回のクルマがあふれ、生活の安全がおびやかされている	5 3 %	5 6 %
P I手法を導入することに賛成	8 6 %	9 2 %

みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の検討に活用させていただきます。

平成15年12月4日

横 浜 市 道 路 局 ／ 国土交通省 横浜国道事務所

記者発表クラブ

竹 芝 記 者 ク ラ ブ
さいたま新都心記者クラブ
神奈川県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ
神奈川県建設記者会
横浜市政記者会
川崎記者クラブ

お問い合わせ先

横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課
横浜環状道路担当課長：森 公司
電話 0 4 5 - 6 7 1 - 2 7 9 9 (直通)

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所 調査第一課長：本田 康秀
電話 0 4 5 - 3 1 6 - 3 5 3 6 (直通)

アンケート調査結果の ポイント

(仮称)横浜環状北西線に関するみなさまの期待や懸念をお聴きするため、平成15年10月下旬から11月上旬にかけて横浜市民や横浜市域の主要事業所などを対象としたアンケート調査を実施しました。

その調査結果のポイントをお知らせします。

1. 実施概要

市民対象アンケート調査

- 調査対象 / 20歳以上
- 調査手法 / 郵送調査法
- 抽出方法 / 層化無作為抽出法（各種世論調査で一般に用いられている公正で偏りのない抽出法）
- 調査対象エリア / 横浜市内
- 調査人数 / 10,060人
- 回答者数 / 3,021人

事業所等アンケート調査

- 調査対象 / 横浜市内の資本金5,000万円以上の事業所と自動車運送業の事業所及び農業従事者
- 調査手法 / 郵送調査法
- 抽出方法 / 事業所は横浜商工会議所会員より抽出
農業従事者は都筑区、青葉区、緑区の農業従事者から抽出
- 調査対象エリア / 横浜市内
- 調査社人数 / 事業所2,033社、農業従事者50人
- 回答社(者)数 / 914社(人)

2. 結果概要

(市民対象アンケート、事業所等アンケート)

湾岸エリアと東名高速エリア間のクルマの移動が不便

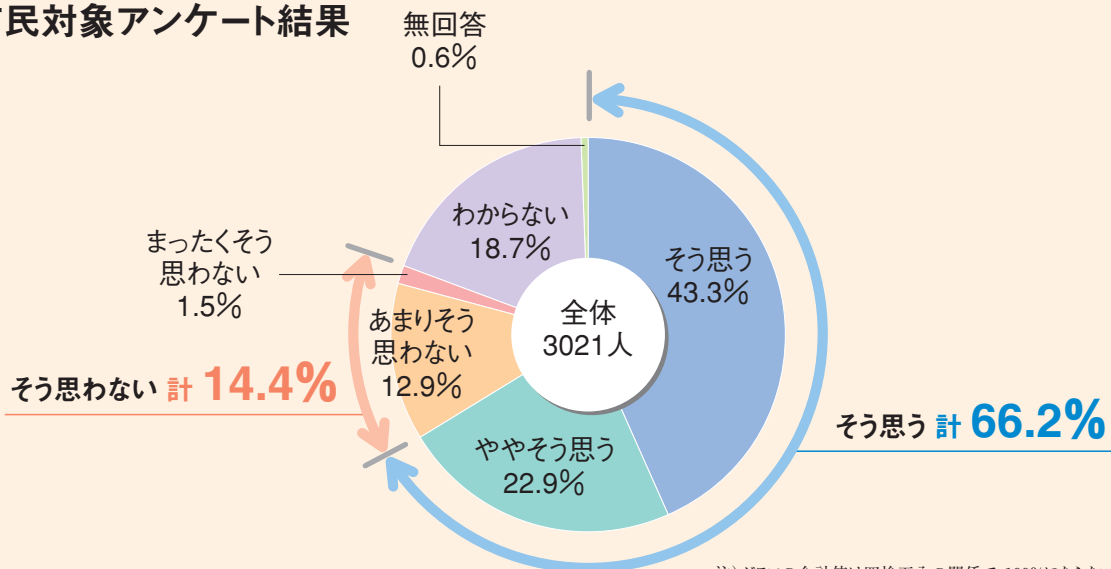
「そう思う」——市民対象:約66%——事業所等:約87%

「そう思わない」——市民対象:約14%——事業所等:約9%

問

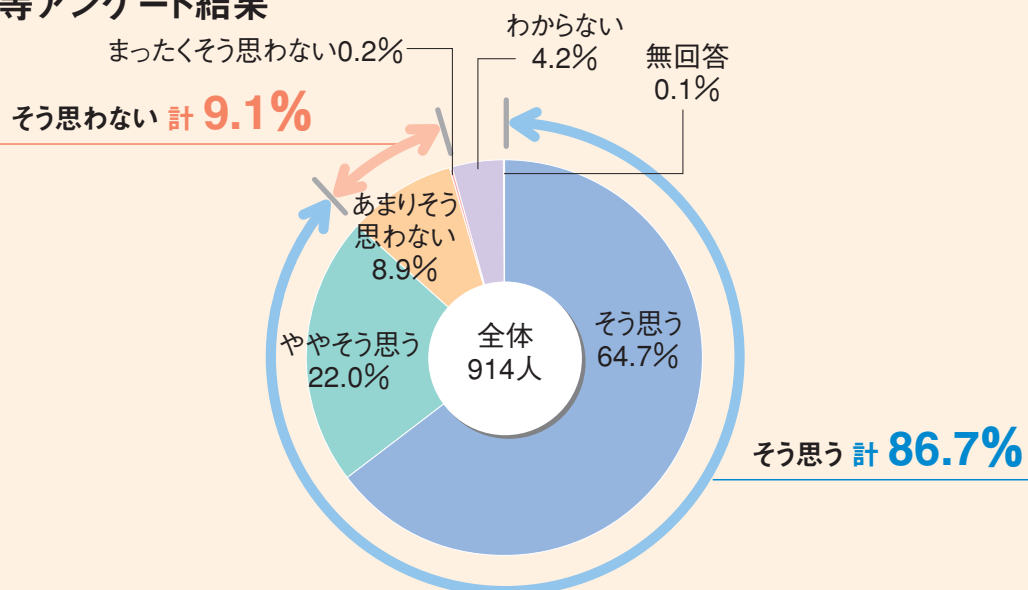
湾岸エリア(鶴見区、神奈川区、西区、中区など)⇔東名高速エリア(町田市、相模原市、瀬谷区、青葉区など)のクルマの移動が不便だと思いますか。

●市民対象アンケート結果



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

●事業所等アンケート結果



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

現在の大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい



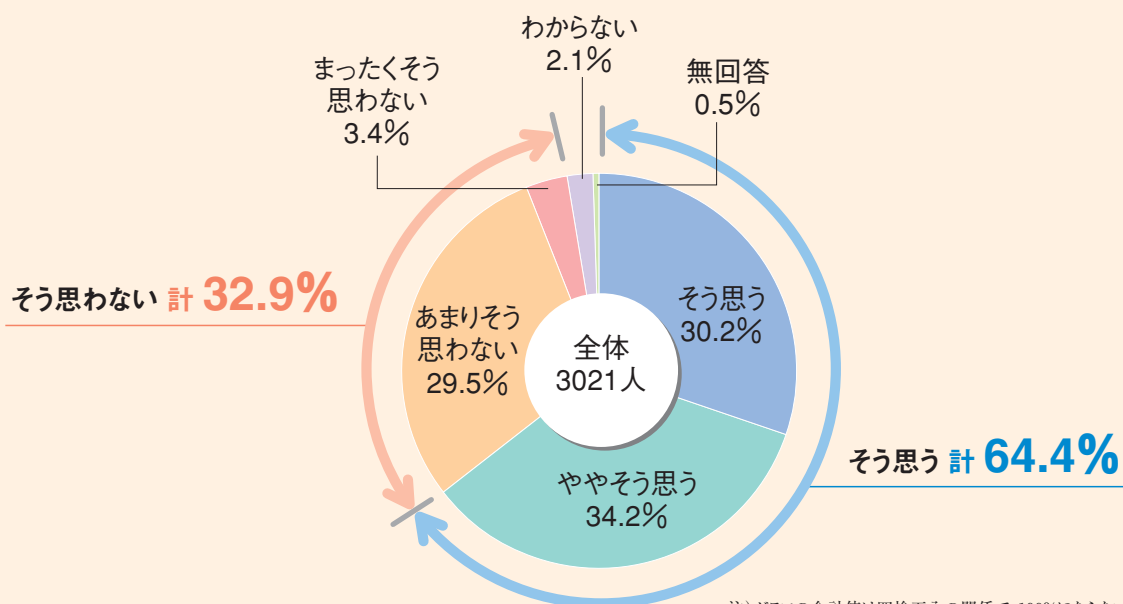
「**そう思う**」—— 市民対象: **約64%** —— 事業所等: **約68%**

「**そう思わない**」—— 市民対象: **約33%** —— 事業所等: **約30%**

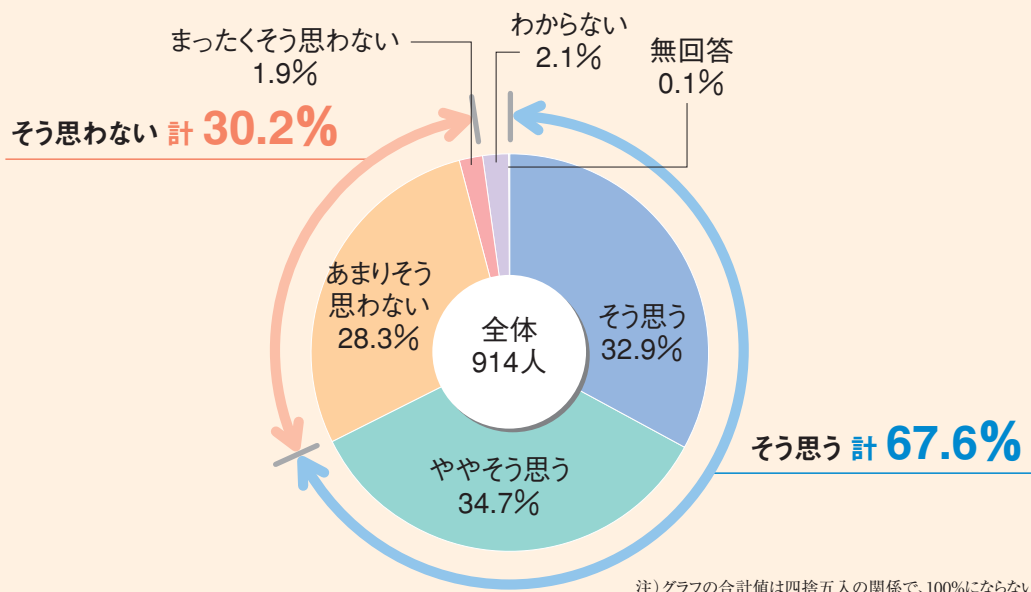


あなたが住まいの地域の周辺において（貴事業所の周辺において）渋滞や交通集中により、大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあると思われますか。

●市民対象アンケート結果



●事業所等アンケート結果



迂回したクルマがあふれ、生活の安全がおびやかされている



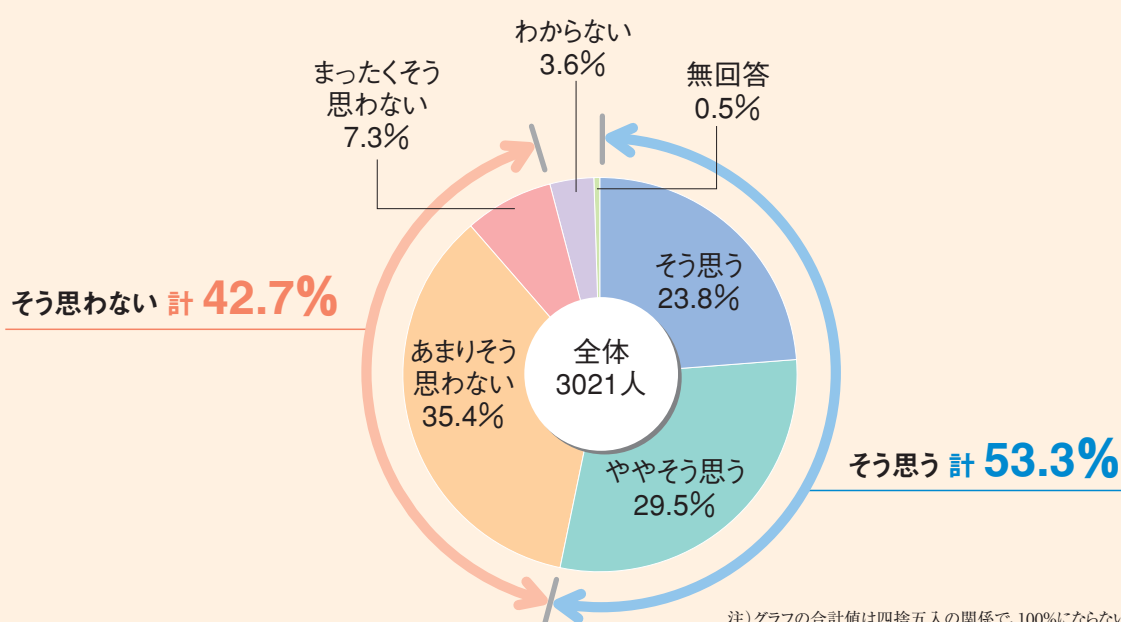
「そう思う」——市民対象:約**53%**——事業所等:約**56%**

「そう思わない」——市民対象:約**43%**——事業所等:約**40%**

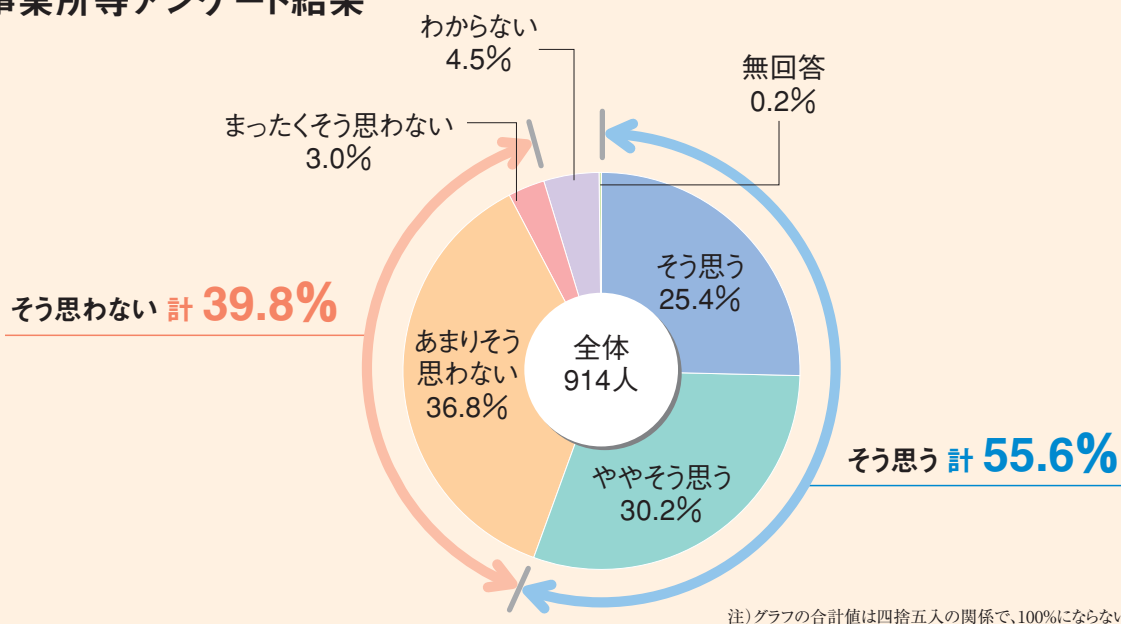


あなたが住まいの地域の周辺において（貴事業所の周辺において）幹線道路の渋滞等により、迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあると思われますか。

●市民対象アンケート結果



●事業所等アンケート結果



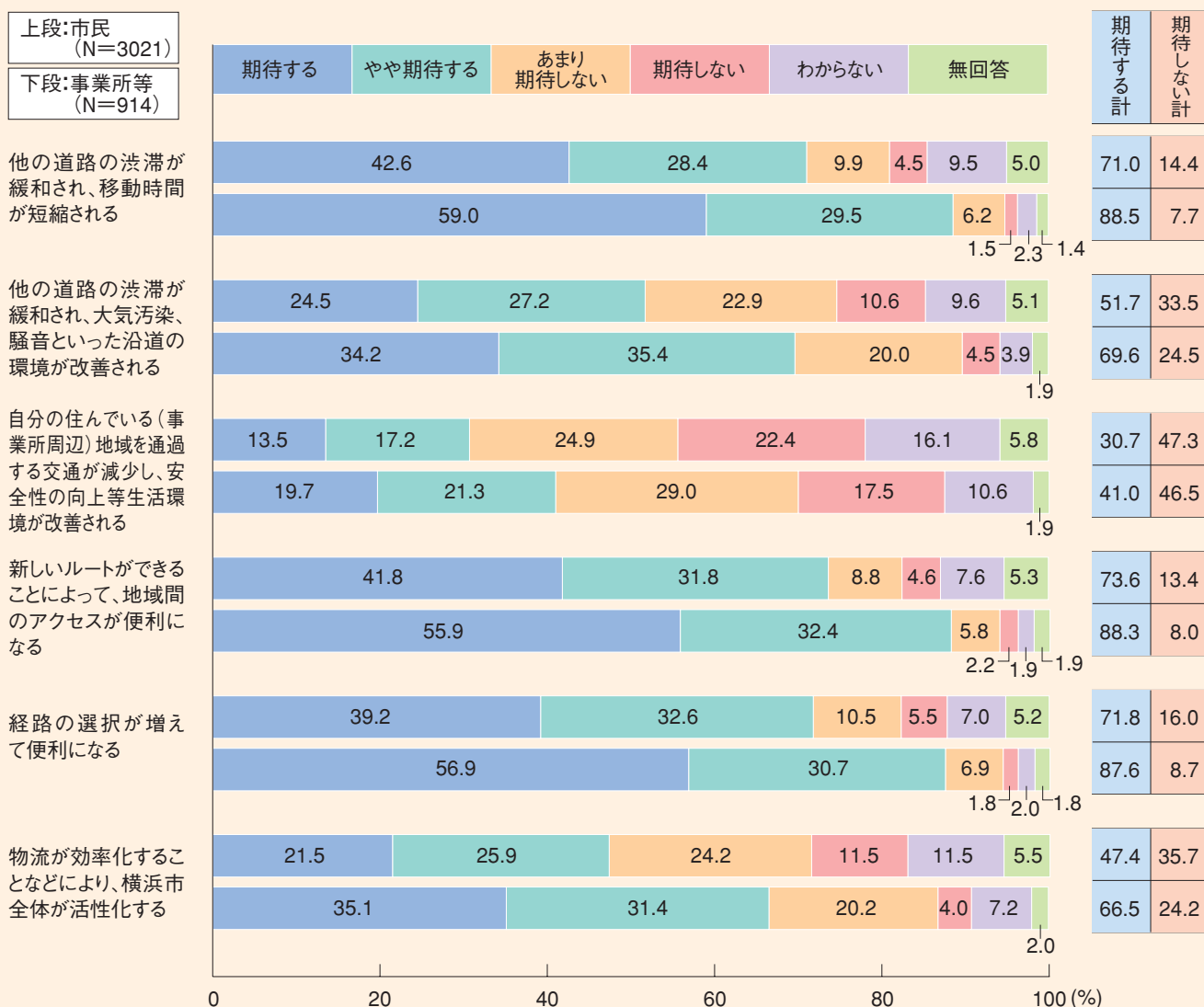
(仮称) 横浜環状北西線に期待する効果は



「地域間のアクセスが便利になる」	約74%	市民対象
「経路の選択が増えて便利になる」	約72%	
「他の道路の渋滞が緩和され、移動時間が短縮」	約71%	
「他の道路の渋滞が緩和され、移動時間が短縮」	約89%	事業所等
「地域間のアクセスが便利になる」	約88%	
「経路の選択が増えて便利になる」	約88%	

問

(仮称) 横浜環状北西線について、どのような効果を期待されますか。



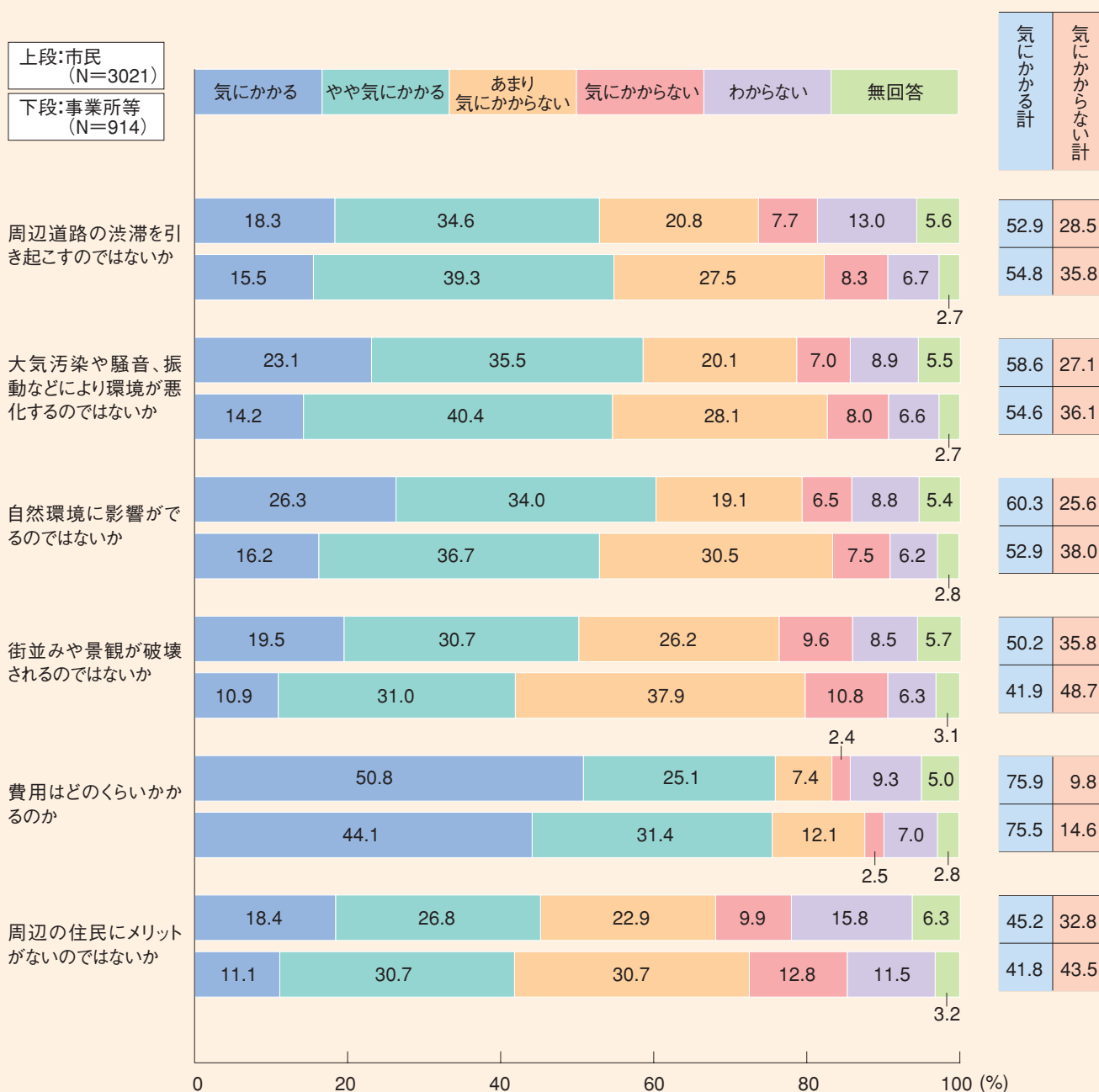
(仮称) 横浜環状北西線の構想について気にかかることは



「費用」——市民対象:約76%——事業所等:約76%

問

(仮称) 横浜環状北西線の構想について、どのようなことが気にかかりますか。



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

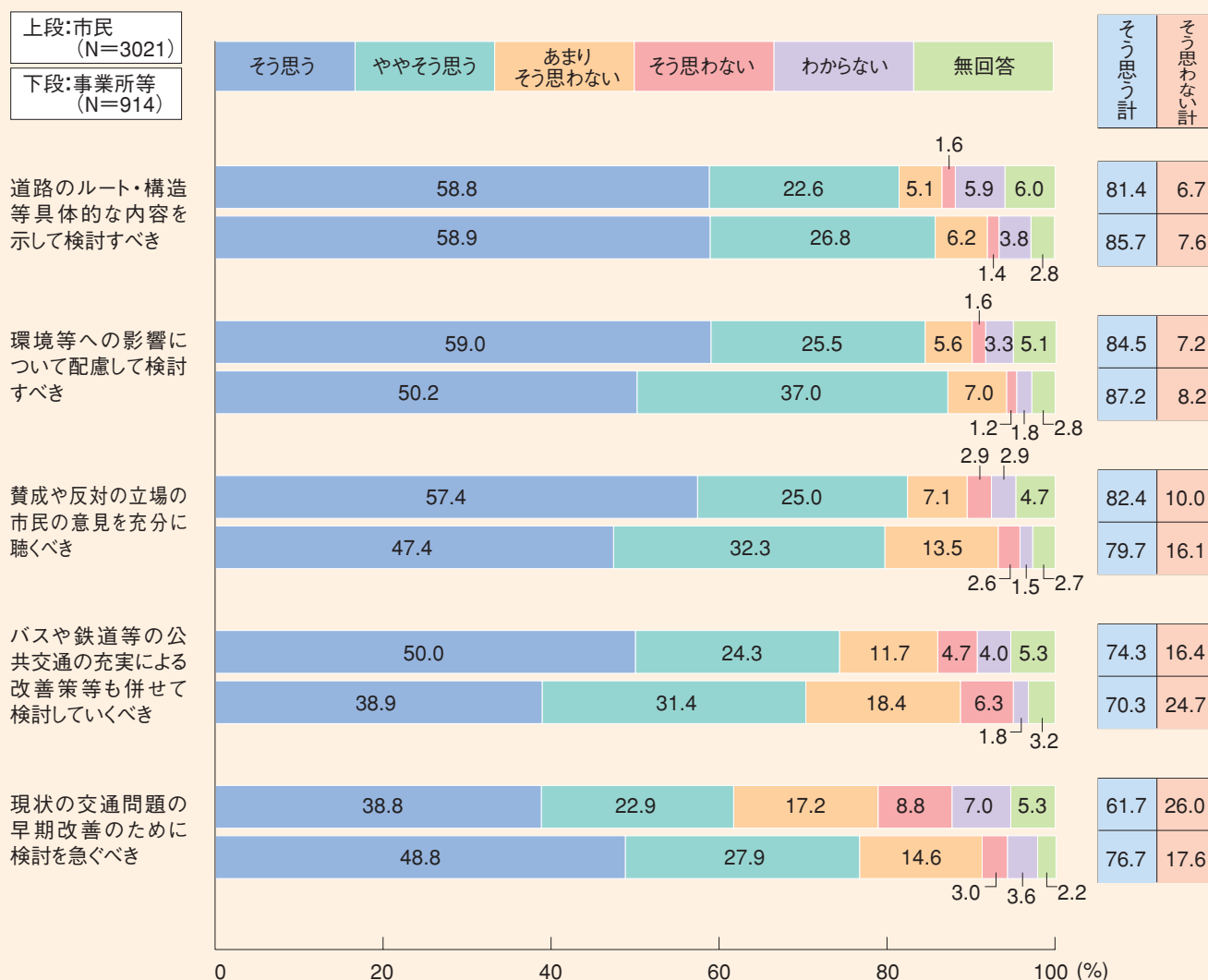
(仮称) 横浜環状北西線の検討を進めるにあたり望むことは



「環境等への影響について配慮」	約85%	市民対象
「賛成や反対の立場の市民の意見を十分に聴く」	約82%	
「ルート・構造等具体的な内容を示して検討」	約81%	
「環境等への影響について配慮」	約87%	事業所等
「ルート・構造等具体的な内容を示して検討」	約86%	
「賛成や反対の立場の市民の意見を十分に聴く」	約80%	

問

(仮称) 横浜環状北西線の構想について、その検討をすすめるにあたり、どのようなことを望みますか。



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

(仮称)横浜環状北西線の検討にPI(パブリック・インボルブメント)を導入して進めていることについて



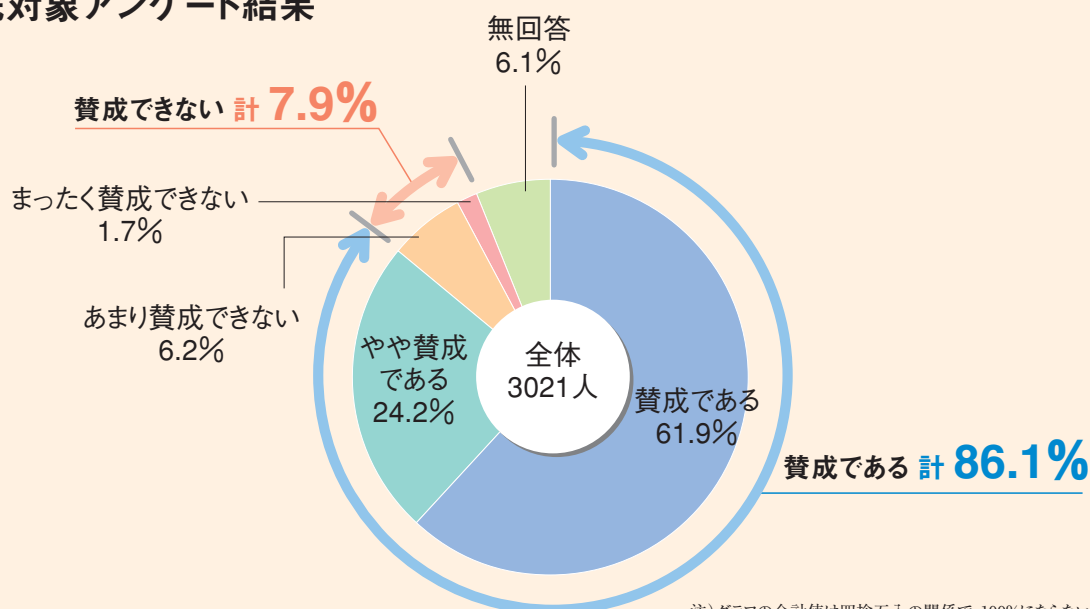
「賛成である」——市民対象:約**86%**——事業所等:約**92%**

「賛成できない」——市民対象:約**8%**——事業所等:約**5%**

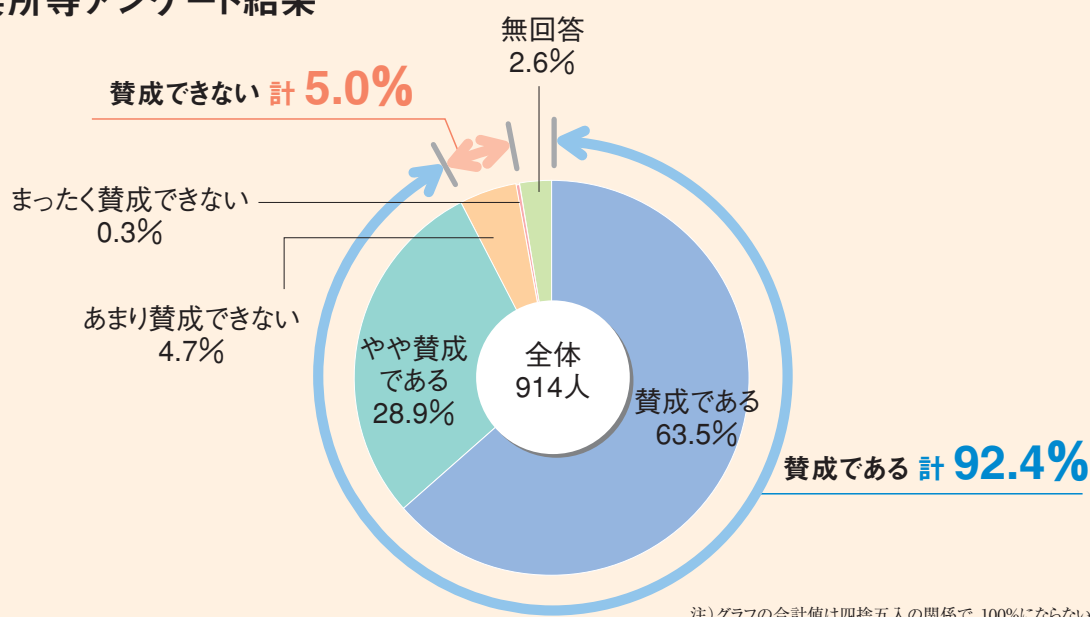
問

(仮称)横浜環状北西線の検討をPIを導入して進めていますが、このような取り組みについて、どのように思われますか。

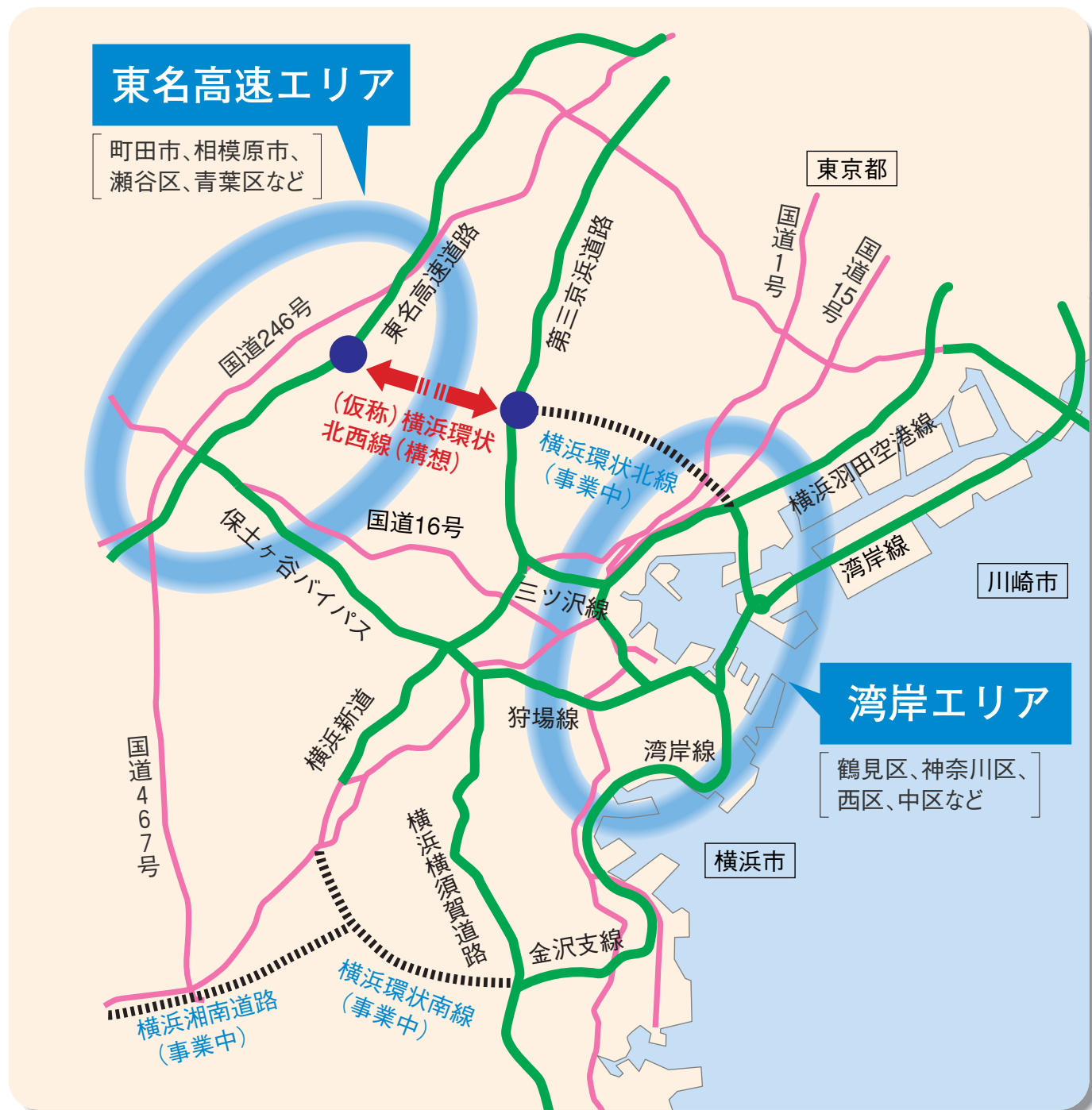
●市民対象アンケート結果



●事業所等アンケート結果



〈参考 1〉 (仮称) 横浜環状北西線 概略図



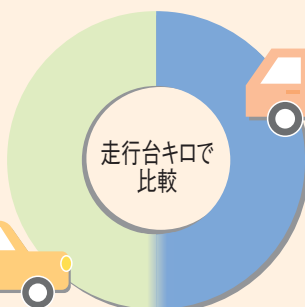
〈参考 2〉 横浜市域の交通の内訳

横浜市内の交通の約半分は
業務用車両です。

自家用車両等
(通勤・娯楽など)



走行台キロで
比較



業務用車両

[出典:平成11年度 道路交通センサスより]

みなさまの声

(仮称)横浜環状北西線に関する
アンケート調査結果

平成15年12月

横 浜 市 道 路 局
国土交通省 横浜国道事務所

(仮称) 横浜環状北西線に関するアンケート調査の結果 (自由回答以外)

(仮称) 横浜環状北西線に関するみなさまの期待や懸念をお聴きするため、平成15年10月下旬から11月上旬にかけて横浜市民や横浜市域の主要事業所などを対象としたアンケート調査を実施しました。その調査結果をお知らせします。

1. 横浜市民アンケート調査

1-1 アンケート調査のあらまし	1
1-2 対象者について	1
1-3 日常のクルマの運転について	2
1-4 横浜市内の道路の現況について	2
1-5 (仮称) 横浜環状北西線のことについて	4
1-6 PI (パブリック・インボルブメント) について	8

2. 事業所等アンケート調査

2-1 アンケート調査のあらまし	10
2-2 対象事業所等について	10
2-3 業務上のクルマの運転について	11
2-4 横浜市内の道路の現況について	11
2-5 (仮称) 横浜環状北西線のことについて	13
2-6 PI (パブリック・インボルブメント) について	17

この冊子は、アンケート調査結果のうち、自由回答以外についてとりまとめたもので、自由回答につきましては、はがきやフリーダイヤル等、(仮称) 横浜環状北西線のPIにおける他の手法 (P20参照) によりいただいた自由回答とあわせて別途とりまとめています。

1 横浜市民アンケート調査

1-1 アンケート調査のあらまし

- 調査対象／20歳以上
- 調査手法／郵送調査法
- 抽出方法／層化無作為抽出法
(各種世論調査で一般に用いられている公正で偏りのない抽出法)
- 調査対象エリア／横浜市内
- 調査人数／10,060人
- 回答者数／3,021人

1-2 対象者について

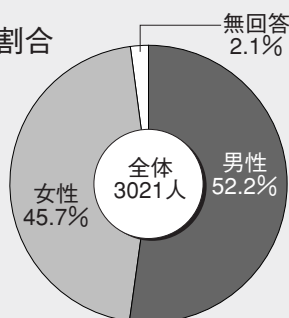
- 調査人数／横浜市民10,060人を調査人数としました
- 回答者／3,021人
- 年齢層

■ 20代	10.4%	■ 60代	18.6%
■ 30代	20.3%	■ 70代以上	11.9%
■ 40代	16.5%	■ 無回答	1.2%
■ 50代	21.2%		

注) 合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

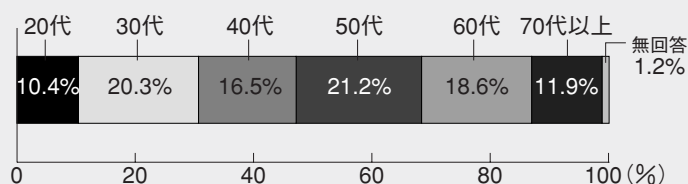
■ 回答者の属性

● 男女の割合



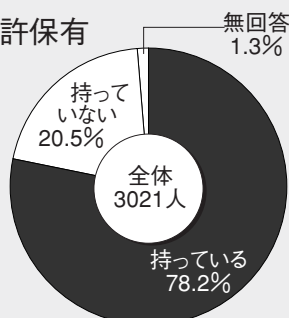
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

● 年代別の割合



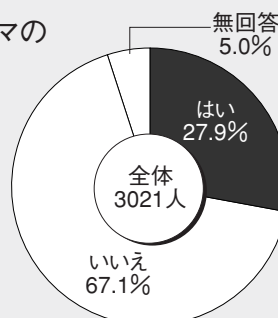
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

● 運転免許保有



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

● 仕事でのクルマの 運転の有無

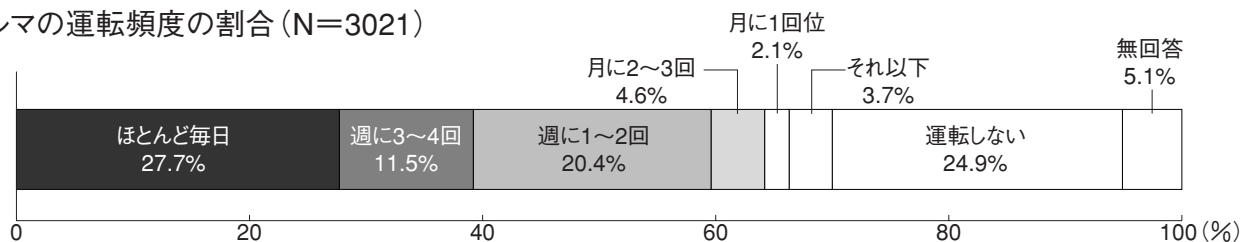


注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

1-3 日常のクルマの運転について

クルマの運転頻度は「週に1回以上」が約60%。

●クルマの運転頻度の割合 (N=3021)



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

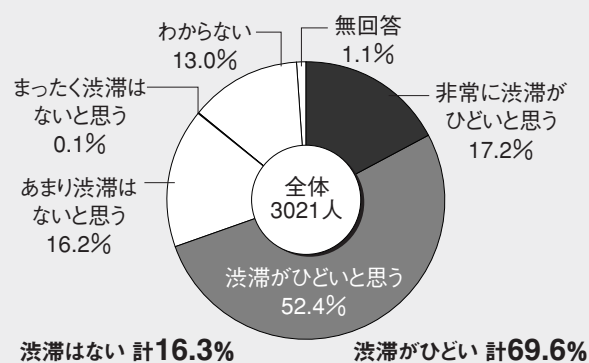
1-4 横浜市内の道路の現況について

横浜市内の道路について「渋滞がひどい」が約70%。
「渋滞はない」が約16%。

横浜市内の道路について——

- 非常に渋滞がひどいと思う…………… 17.2%
 - 渋滞がひどいと思う…………… 52.4%
- 合わせて69.6%が「渋滞がひどいと思う」と答えています。
- あまり渋滞はないと思う…………… 16.2%
 - まったく渋滞はないと思う…………… 0.1%
- 合わせて16.3%が「渋滞はないと思う」と答えています。

問1-1 横浜市内の道路の渋滞について、どのように思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



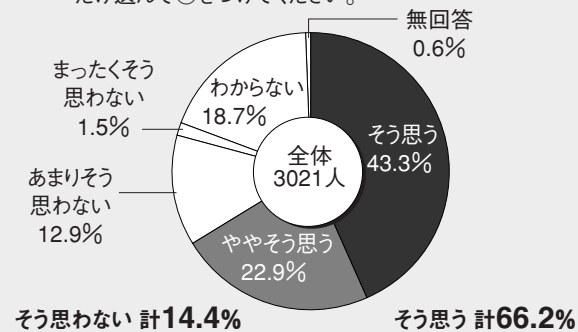
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

湾岸エリアと東名高速エリア間のクルマの移動が不便だということについて「そう思う」が約66%。「そう思わない」が約14%。

湾岸エリアと東名高速エリア間のクルマの移動が不便だということについて——

- そう思う…………… 43.3%
 - ややそう思う…………… 22.9%
- 合わせて66.2%が「そう思う」と答えています。
- あまりそう思わない…………… 12.9%
 - まったくそう思わない…………… 1.5%
- 合わせて14.4%が「そう思わない」と答えています。

問1-2 湾岸エリア(鶴見区、神奈川区、西区、中区など)⇄東名高速エリア(町田市、相模原市、瀬谷区、青葉区など)のクルマの移動が不便だと思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



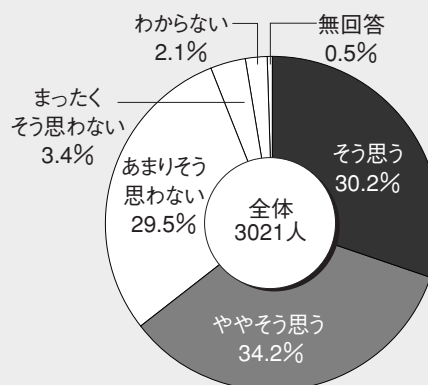
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあるということについて「そう思う」が約64%。「そう思わない」が約33%。

大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあるということについて——

- そう思う 30.2%
 - ややそう思う 34.2%
- 合わせて64.4%が「そう思う」と答えています。
- あまりそう思わない 29.5%
 - まったくそう思わない 3.4%
- 合わせて32.9%が「そう思わない」と答えています。

問1-3 あなたがお住まいの地域の周辺において、渋滞や交通集中により、大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあると思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



そう思わない 計32.9%

そう思う 計64.4%

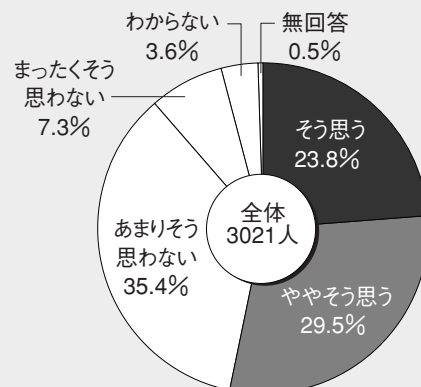
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあるということについて「そう思う」が約53%。「そう思わない」が約43%。

迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあるということについて——

- そう思う 23.8%
 - ややそう思う 29.5%
- 合わせて53.3%が「そう思う」と答えています。
- あまりそう思わない 35.4%
 - まったくそう思わない 7.3%
- 合わせて42.7%が「そう思わない」と答えています。

問1-4 あなたがお住まいの地域の周辺において幹線道路の渋滞等により、迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあると思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



そう思わない 計42.7%

そう思う 計53.3%

注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

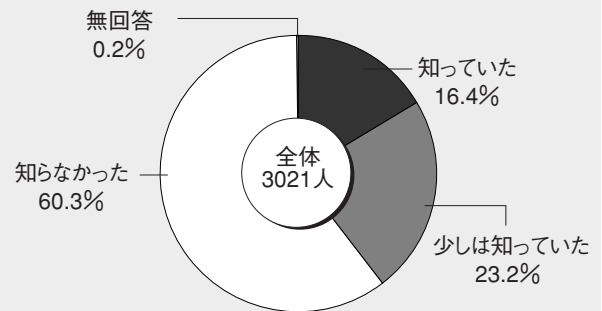
1-5 (仮称) 横浜環状北西線のことについて

(仮称) 横浜環状北西線の構想について
「知っていた」は約40%。

(仮称) 横浜環状北西線の構想について――

- 知っていた 16.4%
 - 少しは知っていた 23.2%
- 合わせて39.6%が「知っていた」と答えています。

問2-1 第三京浜港北インターチェンジと東名高速横浜青葉インターチェンジを結ぶ(仮称) 横浜環状北西線の構想について、ご存知でしたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



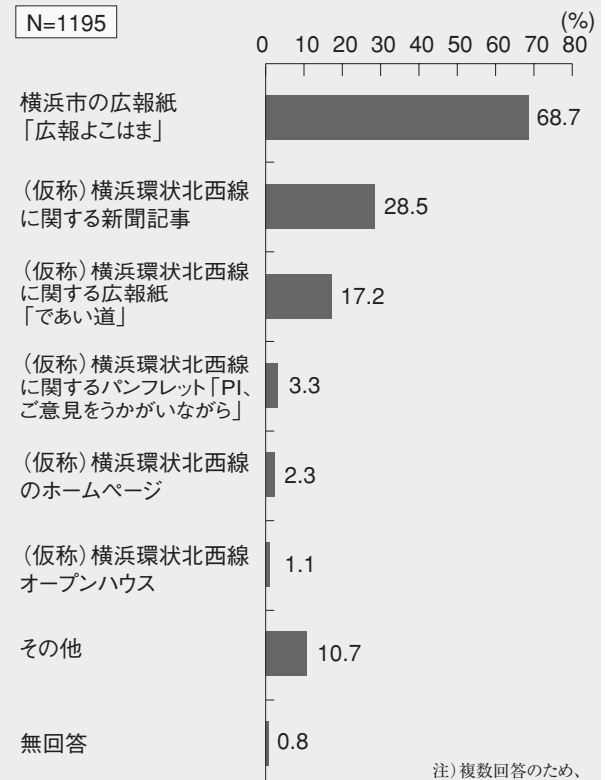
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

(仮称) 横浜環状北西線の構想を知った手段は
「横浜市の広報紙『広報よこはま』」が約69%。

(仮称) 横浜環状北西線の構想を知った手段は――

- 横浜市の広報紙「広報よこはま」 68.7%
- (仮称) 横浜環状北西線に関する新聞記事 28.5%
- (仮称) 横浜環状北西線に関する広報紙「であい道」 17.2%
- など

問2-2 問2-1で「1」又は「2」に○をつけた方にお聞きます。(仮称) 横浜環状北西線の構想を何によって知りましたか。次の中から選んで○をつけてください。(複数回答可)



注) 複数回答のため、合計は100%になりません。

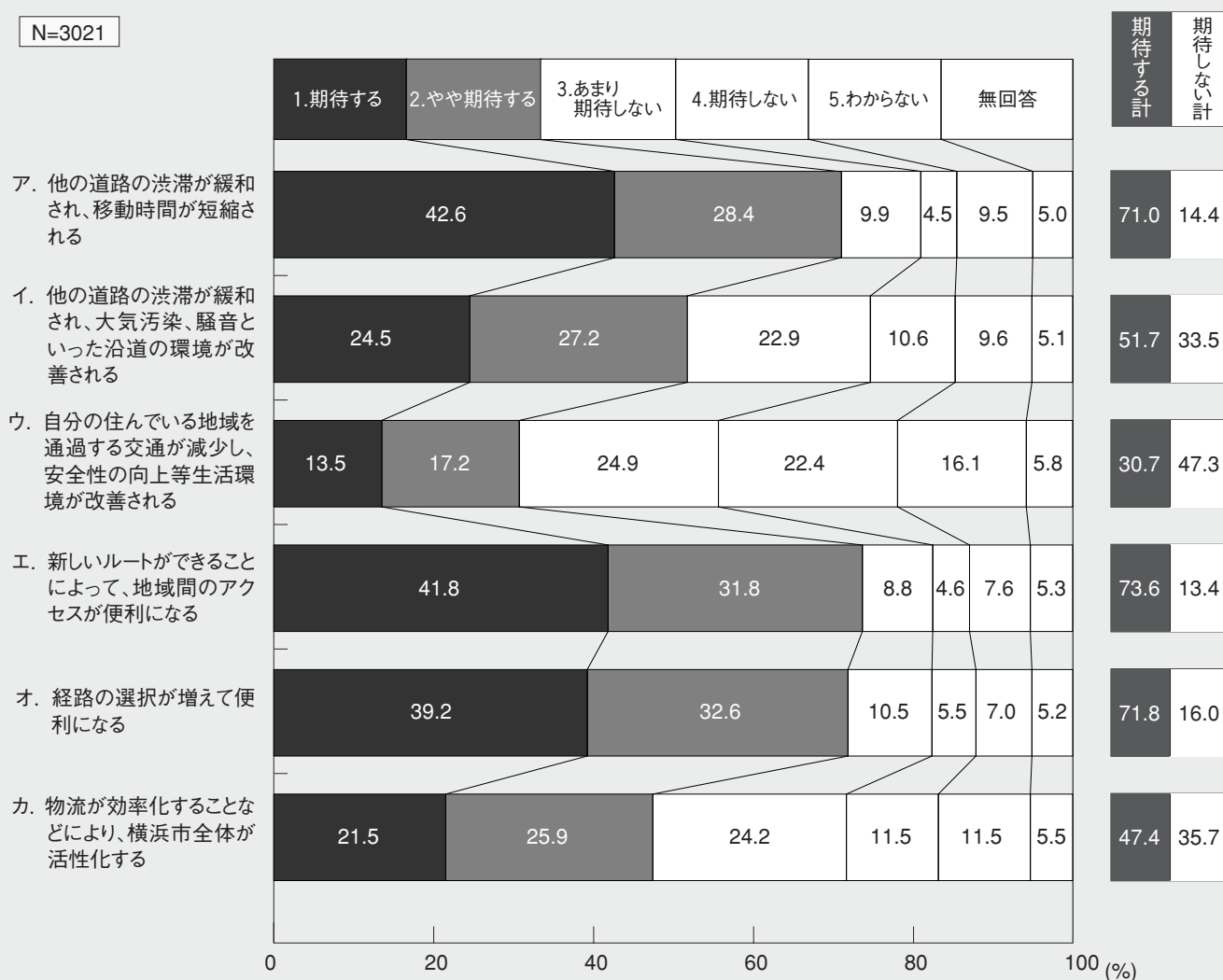
(仮称)横浜環状北西線に期待する効果は「地域間のアクセスが便利になる」が約74%。「経路の選択が増えて便利になる」が約72%。「渋滞が緩和され、移動時間が短縮」が71%。

(仮称)横浜環状北西線に期待する効果で「期待する」「やや期待する」と答えた人の割合は――

ア. 他の道路の渋滞が緩和され、移動時間が短縮される	71.0%
イ. 他の道路の渋滞が緩和され、大気汚染、騒音といった沿道環境が改善される	51.7%
ウ. 自分の住んでいる地域を通過する交通が減少し、安全性の向上等生活環境が改善される	30.7%
エ. 新しいルートができることによって、地域間のアクセスが便利になる	73.6%
オ. 経路の選択が増えて便利になる	71.8%
カ. 物流が効率化することなどにより、横浜市全体が活性化する	47.4%

問2-3 (仮称)横浜環状北西線について、どのような効果を期待されますか。
下記のア～カについて、1～5の中からそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

N=3021



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

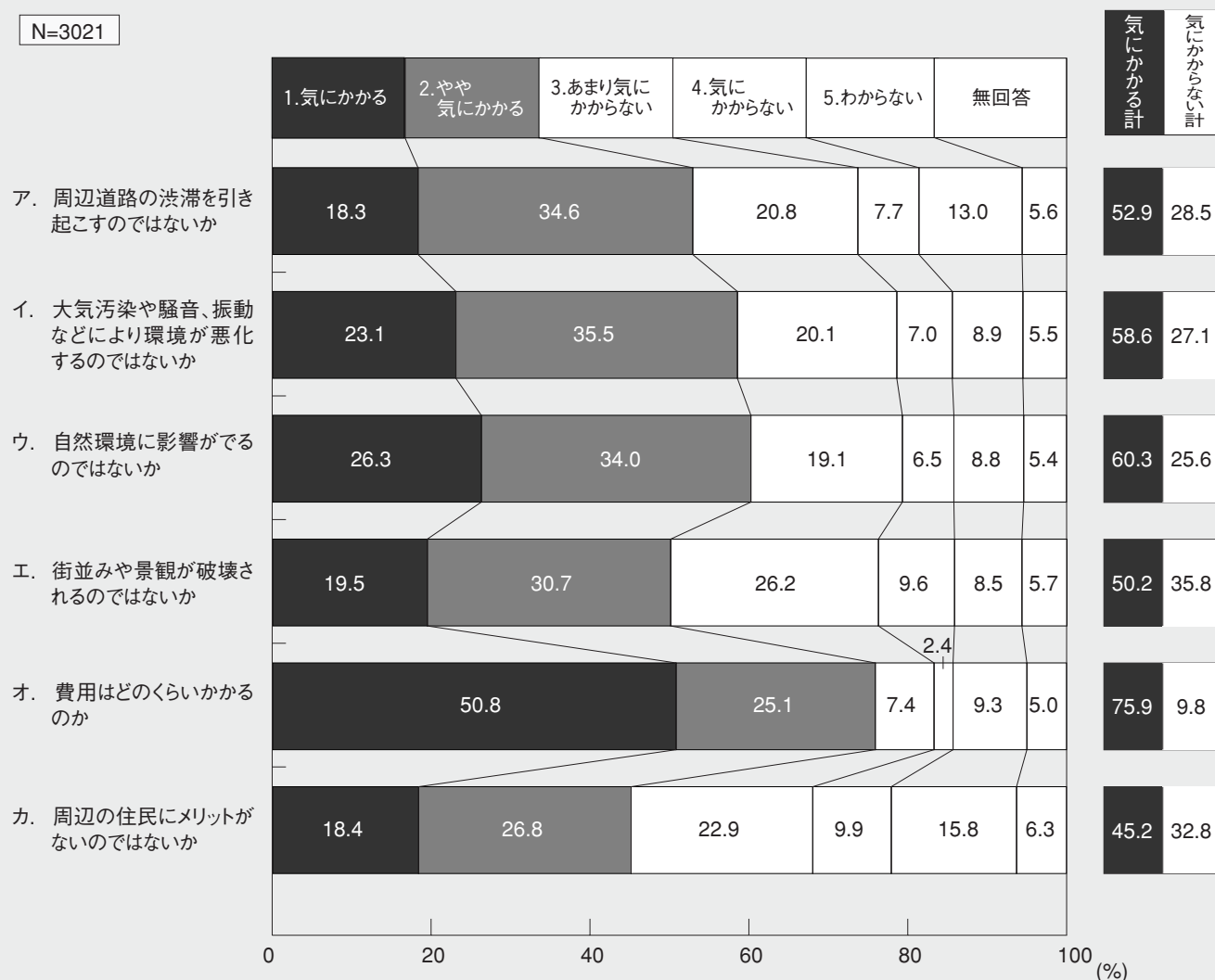
(仮称) 横浜環状北西線の構想について気にかかることは
「費用」が約76%。「自然環境への影響」が約60%。
「環境の悪化」が約59%。

(仮称) 横浜環状北西線の構想で「気にかかる」「やや気にかかる」と答えた人の割合は――

ア. 周辺道路の渋滞を引き起こすのではないかな	52.9%
イ. 大気汚染や騒音、振動などにより環境が悪化するのではないかな	58.6%
ウ. 自然環境に影響がでるのではないかな	60.3%
エ. 街並みや景観が破壊されるのではないかな	50.2%
オ. 費用はどのくらいかかるのか	75.9%
カ. 周辺の住民にメリットがないのではないかな	45.2%

問2-4 (仮称) 横浜環状北西線の構想について、どのようなことが気にかかりますか。
下記のア～カについて、1～5の中からそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

N=3021



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

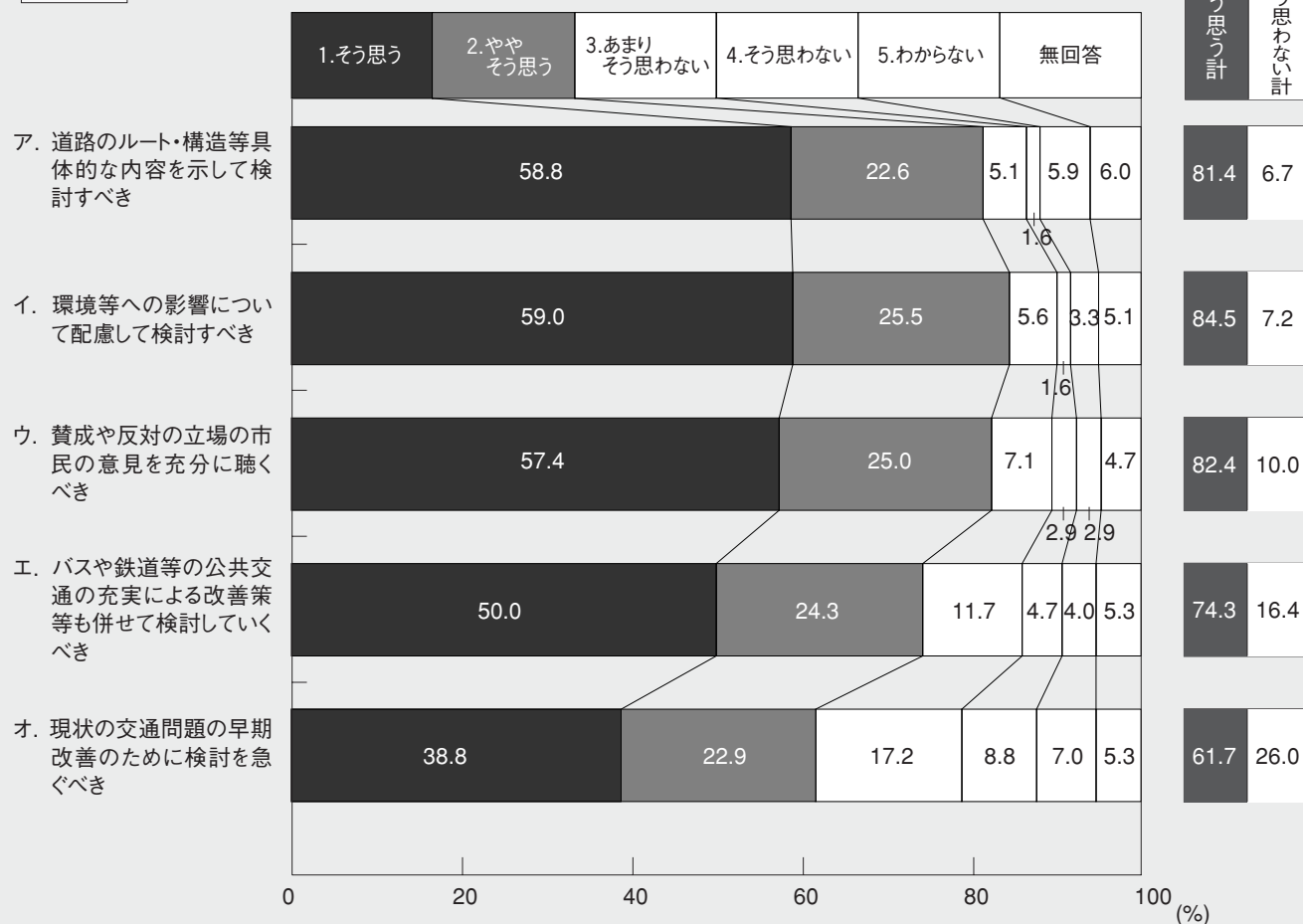
(仮称) 横浜環状北西線の検討をすすめるにあたり望むことは、「環境等への影響について配慮」が約85%。「賛成や反対の立場の市民の意見を十分に聴く」が約82%。「ルート・構造等具体的な内容を示して検討」が約81%。

(仮称) 横浜環状北西線の構想の検討をすすめるにあたり望むことを「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の割合は――

ア. 道路のルート・構造等具体的な内容を示して検討すべき	81.4%
イ. 環境等への影響について配慮して検討すべき	84.5%
ウ. 賛成や反対の立場の市民の意見を十分に聴くべき	82.4%
エ. バスや鉄道等の公共交通の充実による改善策等も併せて検討していくべき	74.3%
オ. 現状の交通問題の早期改善のために検討を急ぐべき	61.7%

問2-5 (仮称) 横浜環状北西線の構想について、その検討をすすめるにあたり、どのようなことを望みますか。
下記のア～オについて、1～5の中からそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

N=3021



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

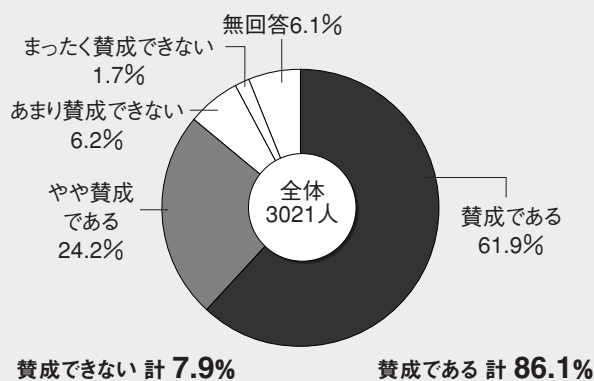
1-6 P I (パブリック・インボルブメント) について

P I を導入して進めていることについて
「賛成」は約86%。

(仮称) 横浜環状北西線の検討をP I を導入して
進めていることについて——

- 賛成である 61.9%
 - やや賛成である 24.2%
- 合わせて86.1%が「賛成である」と答えています。

問3-1 (仮称) 横浜環状北西線の検討をP I を導入して進めています。このような取り組みについて、どのように思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



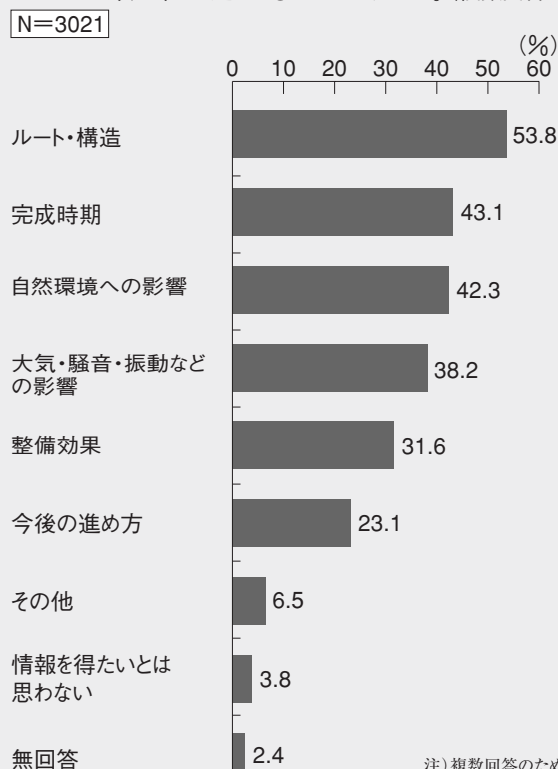
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

(仮称) 横浜環状北西線の知りたい情報について
伺いました。

(仮称) 横浜環状北西線について、得たいと考えて
いる情報内容は——

- ルート・構造 53.8%
- 完成時期 43.1%
- 自然環境への影響 42.3%
- 大気・騒音・振動などの影響 38.2%
- 整備効果 31.6%
- 今後の進め方 23.1%

問3-2 (仮称) 横浜環状北西線について、どのような内容の情報
を得たいとお考えですか。特に知りたいと思われるものを
次の中から選んで○をつけてください。(複数回答可)



注) 複数回答のため、
合計は100%に
なりません。

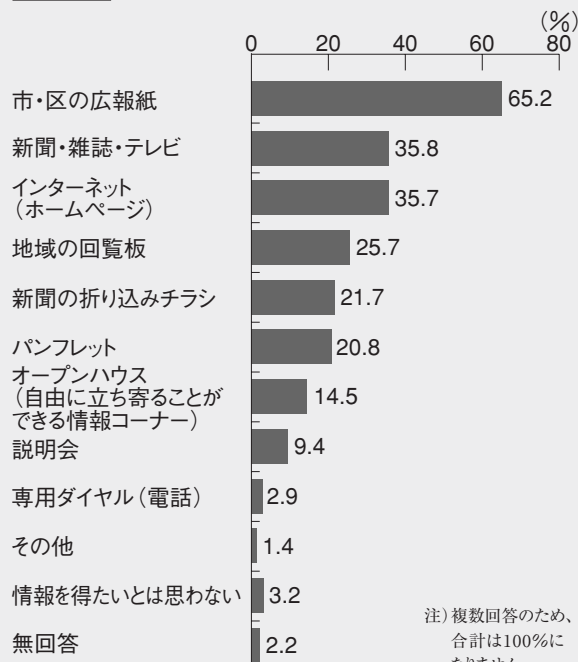
情報を得たいと思う手段は「市・区の広報紙」が約65%。

検討を進める際に情報を得たいと思う手段は——

- 市・区の広報紙 65.2%
- 新聞・雑誌・テレビ 35.8%
- インターネット（ホームページ） 35.7%
- など

問3-3 検討を進める際に、どのような手段で情報を得たいと思われますか。特に情報を得たいと思われる手段を次の中から選んで○をつけてください。（複数回答可）

N=3021



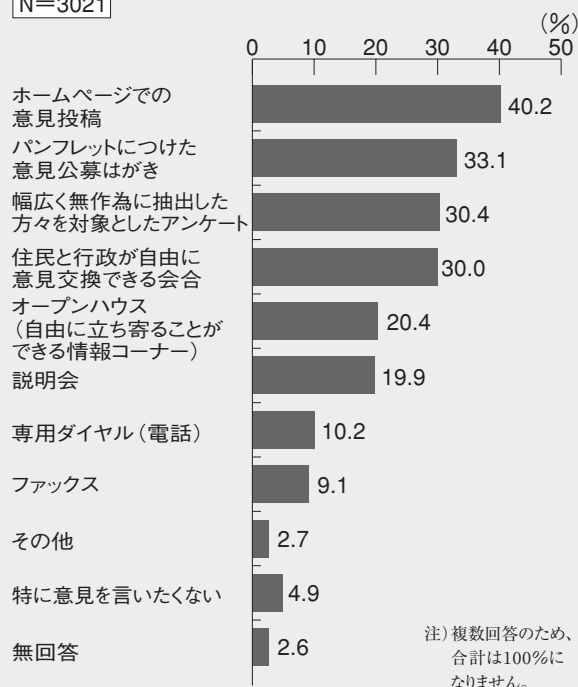
意見を言いやすい手段について伺いました。

検討を進める際に意見を言いやすい手段は——

- ホームページでの意見投稿 40.2%
- パンフレットにつけた意見公募はがき 33.1%
- 幅広く無作為に抽出した方々を対象としたアンケート 30.4%
- 住民と行政が自由に意見交換できる会合 30.0%
- オープンハウス（自由に立ち寄ることができる情報コーナー） 20.4%
- 説明会 19.9%
- など

問3-4 検討を進める際に、どのような手段であれば意見を言いやすいと思いますか。次の中から選んで○をつけてください。（複数回答可）

N=3021



2 事業所等アンケート調査

2-1 アンケート調査のあらまし

- 調査対象／横浜市内の資本金5,000万円以上の事業所と自動車運送業の事業所及び農業従事者
- 調査手法／郵送調査法
- 抽出方法／事業所は横浜商工会議所会員より抽出
農業従事者は都筑区、青葉区、緑区の農業従事者から抽出
- 調査対象エリア／横浜市内
- 調査社人数／事業所2,033社、農業従事者50人
- 回答社(者)数／914社(人)

2-2 対象事業所等について

- 調査対象エリアと調査事業所等の数／横浜市内の事業所2,033社、農業従事者50人を調査対象としました
- 回答社(者)数／914社(人)

業種毎の回答数は右表のとおりです

- 従業員数(事業所)

■ 1～4人	34社
■ 5～9人	61社
■ 10～29人	244社
■ 30～99人	279社
■ 100～299人	167社
■ 300人以上	93社
■ 無回答	14社

業 種	回答社(者)数
農業	22人
鉱業	1社
建設業	149社
製造業	164社
電気・ガス・熱供給・水道業	10社
運輸・通信業	157社
卸・小売業・飲食業	159社
金融・保険業	50社
不動産業	33社
サービス業	151社
無回答	18社
合 計	914社(人)

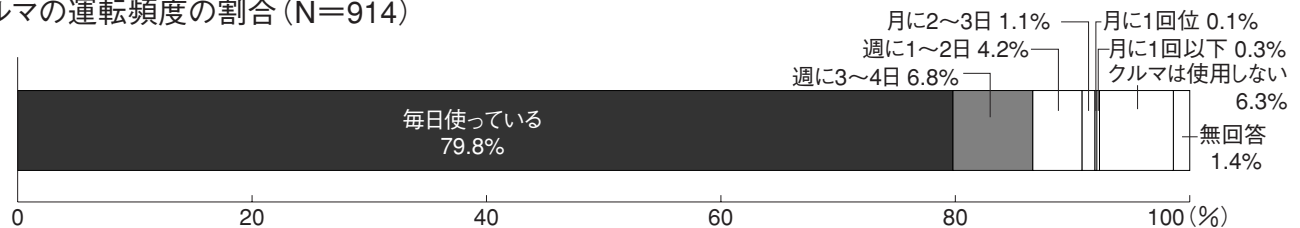
- クルマ所有台数

	N	0台	1台	2台	3～5台	6～10台	11～20台	21～30台	31台以上	無回答
大型車輛	914	720	39	9	26	20	22	12	28	38
普通車輛	914	73	108	85	166	189	133	47	75	38

2-3 業務上のクルマの運転について

クルマの使用頻度は「毎日使っている」が約80%。

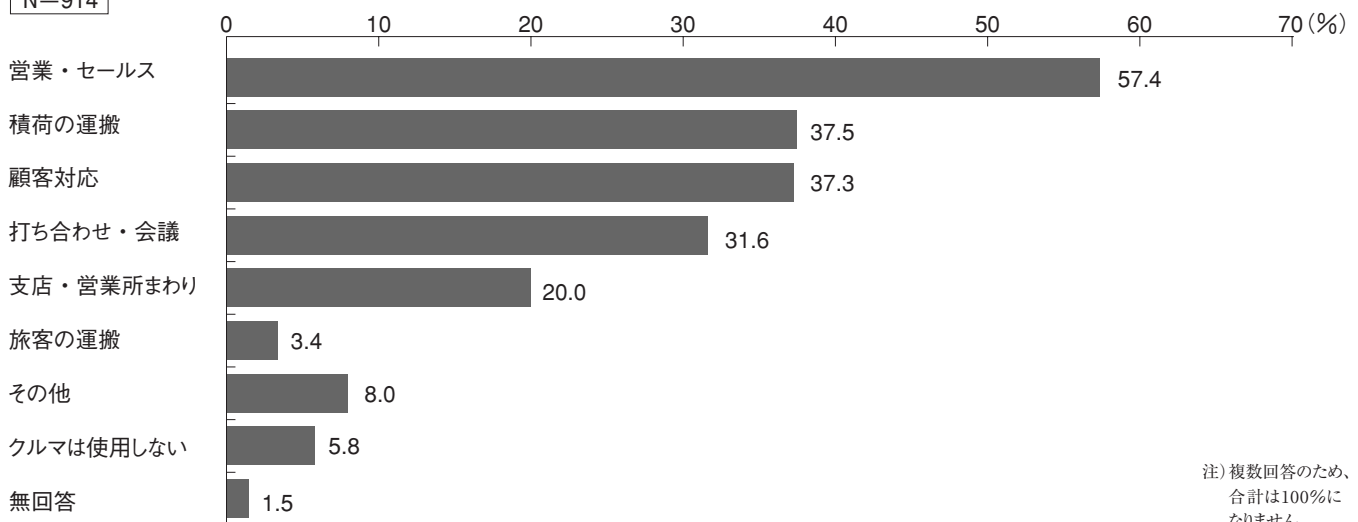
●クルマの運転頻度の割合 (N=914)



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

業務上のクルマの利用目的は「営業・セールス」が約57%。

N=914



注) 複数回答のため、合計は100%になりません。

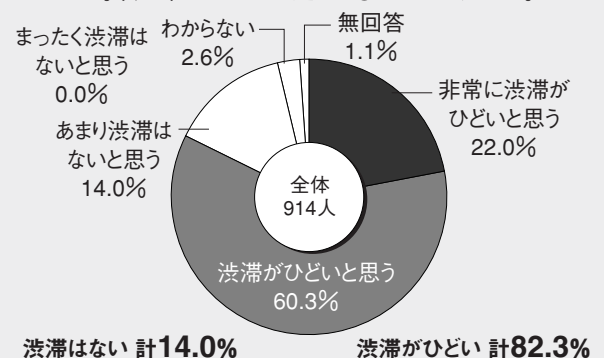
2-4 横浜市内の道路の現況について

横浜市内の道路について「渋滞がひどい」が約82%。
「渋滞はない」が約14%。

横浜市内の道路について——

- 非常に渋滞がひどいと思う…………… 22.0%
- 渋滞がひどいと思う…………… 60.3%
- 合わせて92.3%が「渋滞がひどいと思う」と答えています。
- あまり渋滞はないと思う…………… 14.0%
- まったく渋滞はないと思う…………… 0.0%
- 合わせて14.0%が「渋滞はないと思う」と答えています。

問1-1 横浜市内の道路の渋滞について、どのように思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



渋滞はない 計14.0% 渋滞がひどい 計82.3%

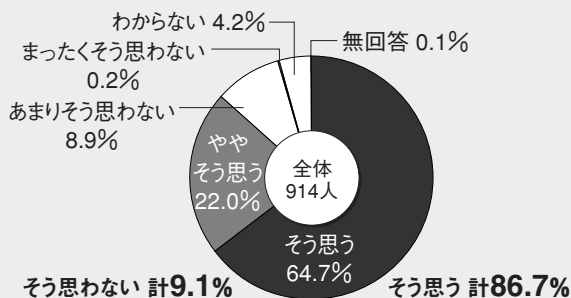
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

湾岸エリアと東名高速エリア間のクルマの移動が不便だということについて「そう思う」が約87%。「そう思わない」が約9%。

湾岸エリアと東名高速エリア間のクルマの移動が不便だということについて——

- そう思う 64.7%
- ややそう思う 22.0%
- 合せて86.7%が「そう思う」と答えています。
- あまりそう思わない 8.9%
- まったくそう思わない 0.2%
- 合せて9.1%が「そう思わない」と答えています。

問1-2 湾岸エリア（鶴見区、神奈川区、西区、中区など）⇄東名高速エリア（町田市、相模原市、瀬谷区、青葉区など）のクルマの移動が不便だと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



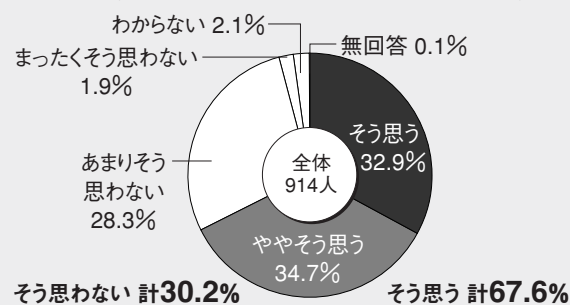
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあるということについて「そう思う」が約68%。「そう思わない」が約30%。

大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあるということについて——

- そう思う 32.9%
- ややそう思う 34.7%
- 合せて67.6%が「そう思う」と答えています。
- あまりそう思わない 28.3%
- まったくそう思わない 1.9%
- 合せて30.2%が「そう思わない」と答えています。

問1-3 貴事業所の周辺において、渋滞や交通集中により、大気汚染・騒音といった沿道環境が厳しい状態にあると思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



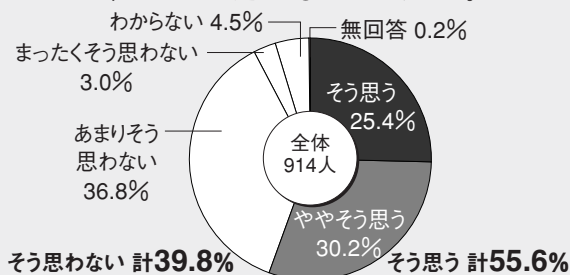
注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあるということについて「そう思う」が約56%。「そう思わない」が約40%。

迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあるということについて——

- そう思う 25.4%
- ややそう思う 30.2%
- 合せて55.6%が「そう思う」と答えています。
- あまりそう思わない 36.8%
- まったくそう思わない 3.0%
- 合せて39.8%が「そう思わない」と答えています。

問1-4 貴事業所の周辺において幹線道路の渋滞等により、迂回したクルマが身近な地域の道路にあふれ、生活の安全がおびやかされている状態にあると思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

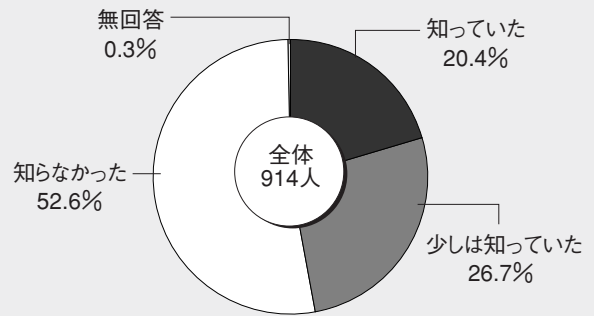
2-5 (仮称) 横浜環状北西線のことについて

(仮称) 横浜環状北西線の構想について
「知っていた」は約47%。

(仮称) 横浜環状北西線の構想について——

- 知っていた 20.4%
 - 少しは知っていた 26.7%
- 合わせて47.1%が「知っていた」と答えています。

問2-1 第三京浜港北インターチェンジと東名高速横浜青葉インターチェンジを結ぶ(仮称)横浜環状北西線の構想について、ご存知でしたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

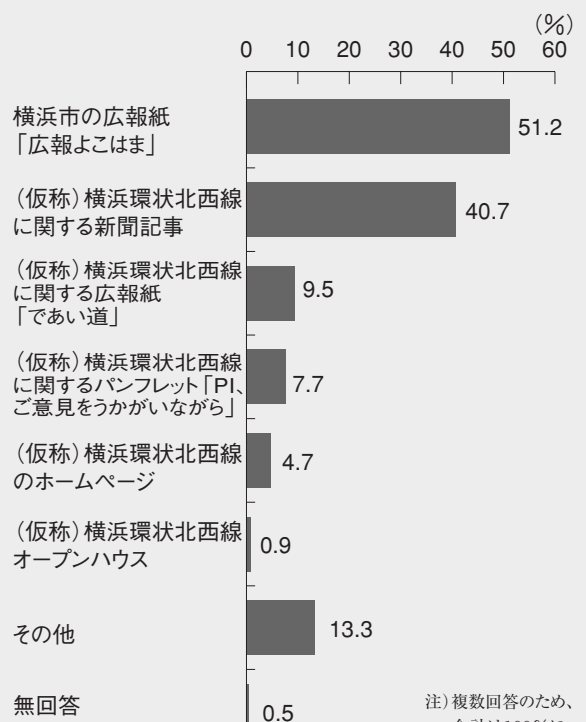
(仮称) 横浜環状北西線の構想を知った手段は
「横浜市の広報紙『広報よこはま』」が約51%。

(仮称) 横浜環状北西線の構想を知った手段は——

- 横浜市の広報紙「広報よこはま」 51.2%
 - (仮称) 横浜環状北西線に関する新聞記事 40.7%
 - (仮称) 横浜環状北西線に関する広報紙「であい道」 9.5%
- など

問2-2 問2-1で「1」又は「2」に○をつけた方にお聞きます。(仮称)横浜環状北西線の構想を何によって知りましたか。次の中から選んで○をつけてください。(複数回答可)

N=430



注) 複数回答のため、合計は100%になりません。

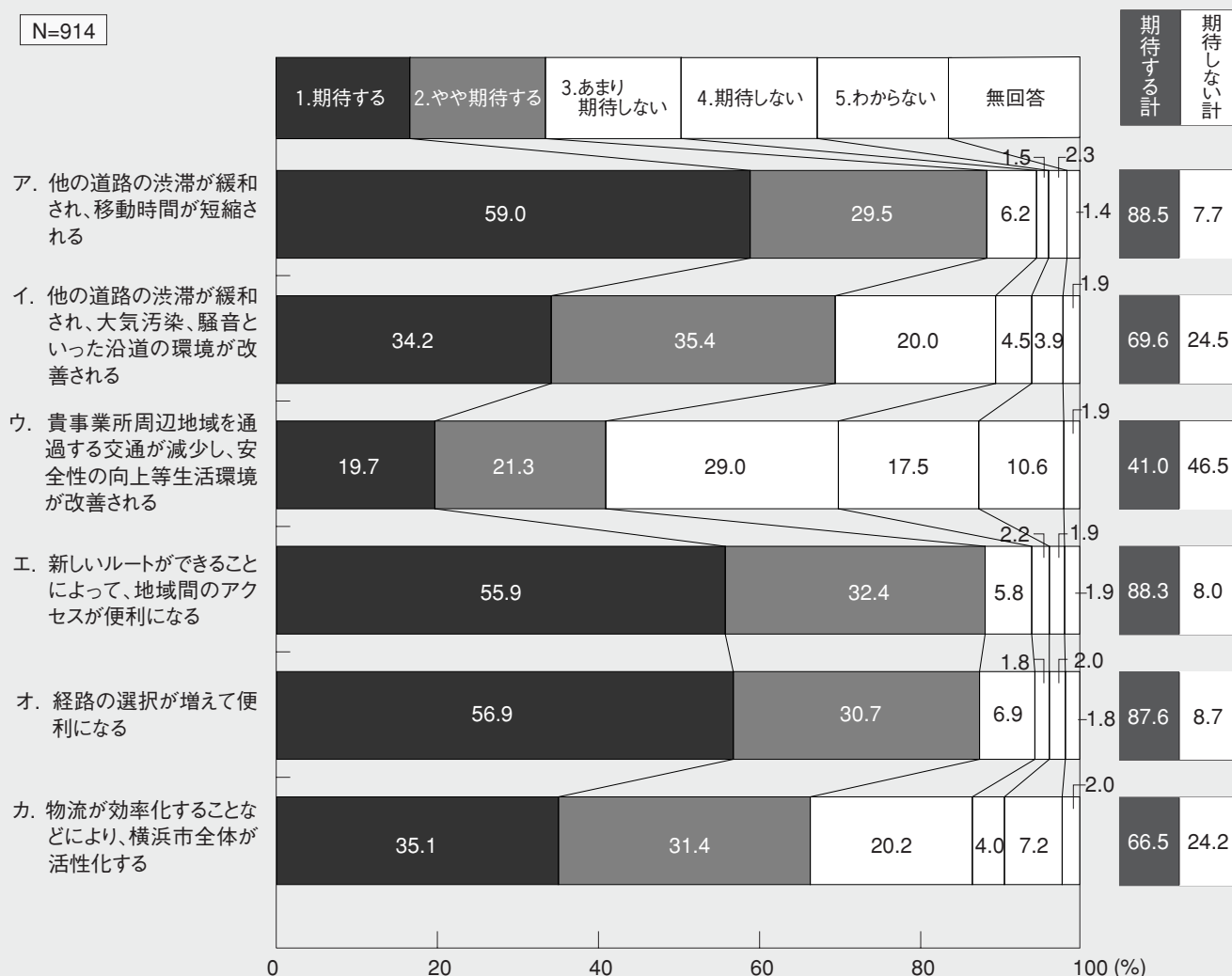
(仮称) 横浜環状北西線に期待する効果は「渋滞が緩和され、移動時間が短縮」が約89%。「地域間のアクセスが便利になる」「経路の選択が増えて便利になる」が約88%。

(仮称) 横浜環状北西線に期待する効果で「期待する」「やや期待する」と答えた人の割合は――

ア. 他の道路の渋滞が緩和され、移動時間が短縮される	88.5%
イ. 他の道路の渋滞が緩和され、大気汚染、騒音といった沿道の環境が改善される	69.6%
ウ. 事業所周辺地域を通過する交通が減少し、安全性の向上等生活環境が改善される	41.0%
エ. 新しいルートができることによって、地域間のアクセスが便利になる	88.3%
オ. 経路の選択が増えて便利になる	87.6%
カ. 物流が効率化することなどにより、横浜市全体が活性化する	66.5%

問2-3 (仮称) 横浜環状北西線について、どのような効果を期待されますか。
下記のア～カについて、1～5の中からそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

N=914



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

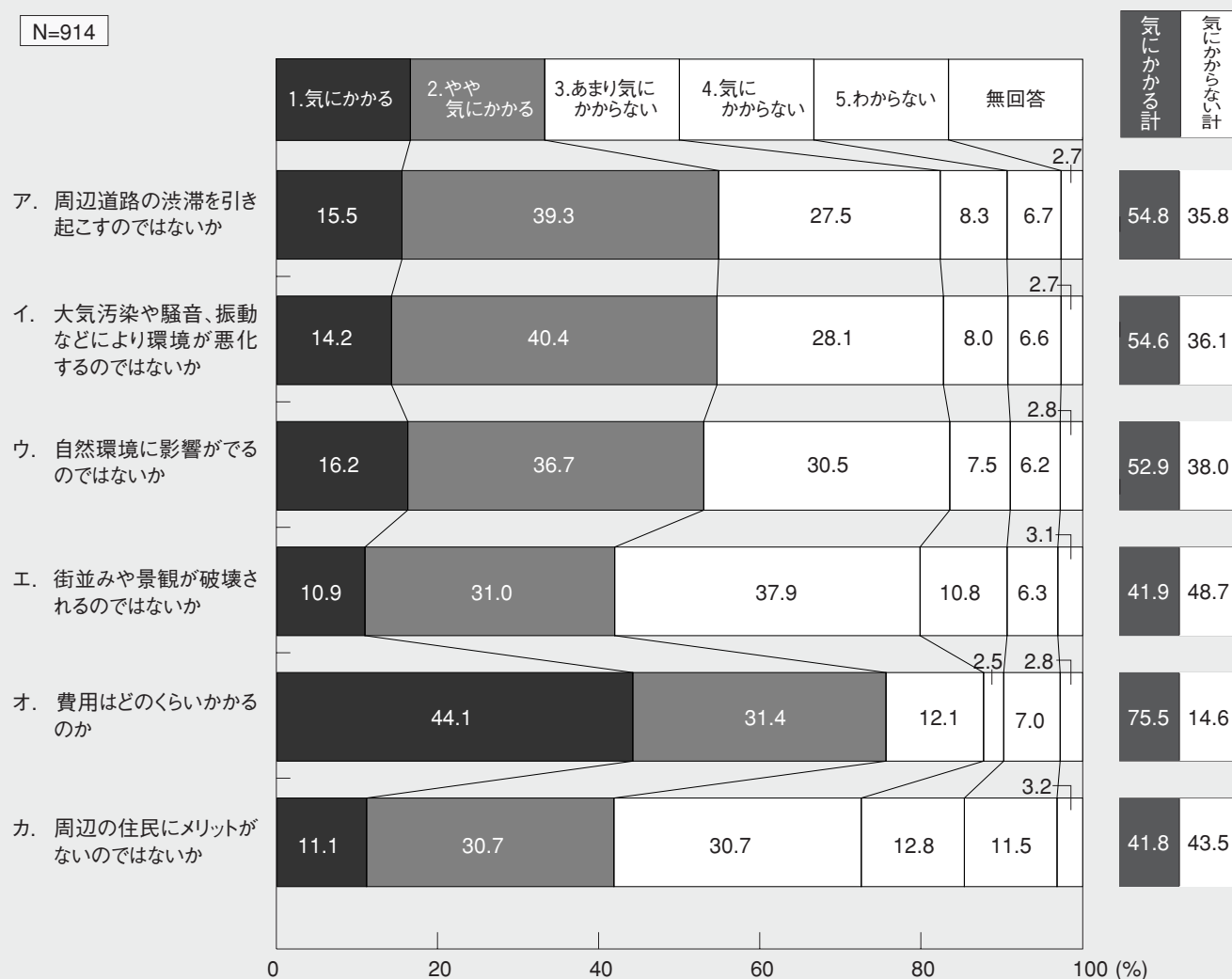
(仮称)横浜環状北西線の構想について気にかかることは
「費用」が約76%。「周辺道路の渋滞」「環境の悪化」が
約55%。「自然環境への影響」が約53%。

(仮称)横浜環状北西線の構想で「気にかかる」「やや気にかかる」と答えた人の割合は――

ア. 周辺道路の渋滞を引き起こすのではないかな	54.8%
イ. 大気汚染や騒音、振動などにより環境が悪化するのではないかな	54.6%
ウ. 自然環境に影響がでるのではないかな	52.9%
エ. 街並みや景観が破壊されるのではないかな	41.9%
オ. 費用はどのくらいかかるのか	75.5%
カ. 周辺の住民にメリットがないのではないかな	41.8%

問2-4 (仮称)横浜環状北西線の構想について、どのようなことが気にかかりますか。
下記のア～カについて、1～5の中からそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

N=914



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

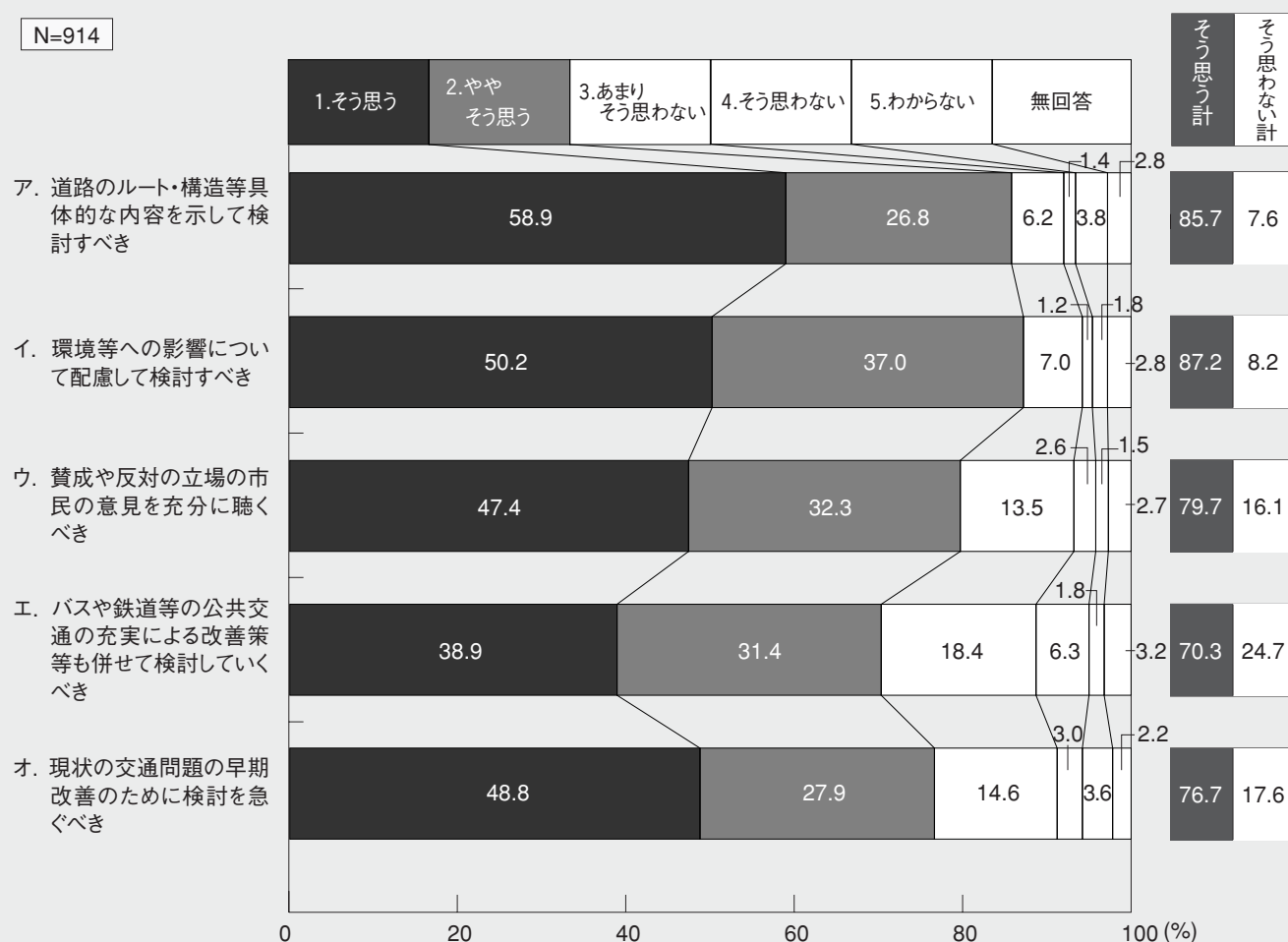
(仮称)横浜環状北西線の検討をすすめるにあたり望むことは「環境等への影響について配慮して検討」が約87%。「ルート・構造等具体的な内容を示して検討」が約86%。「賛成や反対の立場の市民の意見を十分に聴く」が約80%。

(仮称)横浜環状北西線の構想の検討をすすめるにあたり望むことを「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の割合は――

ア. 道路のルート・構造等具体的な内容を示して検討すべき	85.7%
イ. 環境等への影響について配慮して検討すべき	87.2%
ウ. 賛成や反対の立場の市民の意見を十分に聴くべき	79.7%
エ. バスや鉄道等の公共交通の充実による改善策等も併せて検討していくべき	70.3%
オ. 現状の交通問題の早期改善のために検討を急ぐべき	76.7%

問2-5 (仮称)横浜環状北西線の構想について、その検討をすすめるにあたり、どのようなことを望みますか。
下記のア～オについて、1～5の中からそれぞれ1つだけ選んで○をつけてください。

N=914



注) グラフの合計値は四捨五入の関係で、100%にならないことがあります。

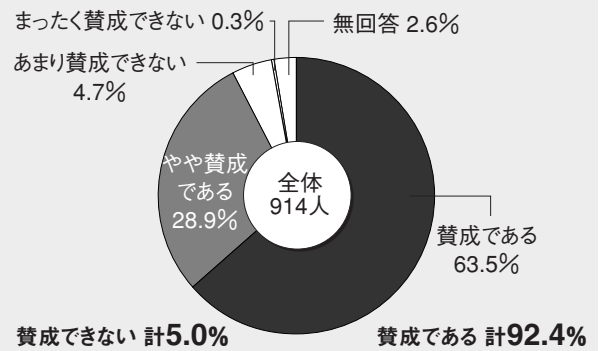
2-6 P I (パブリック・インボルブメント) について

P I を導入して進めていることについて
「賛成」は約92%。

(仮称) 横浜環状北西線の検討をP I を導入して
進めていることについて——

- 賛成である 63.5%
 - やや賛成である 28.9%
- 合わせて92.4%が「賛成である」と答えています。

問3-1 (仮称) 横浜環状北西線の検討をP I を導入して進めています。このような取り組みについて、どのように思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

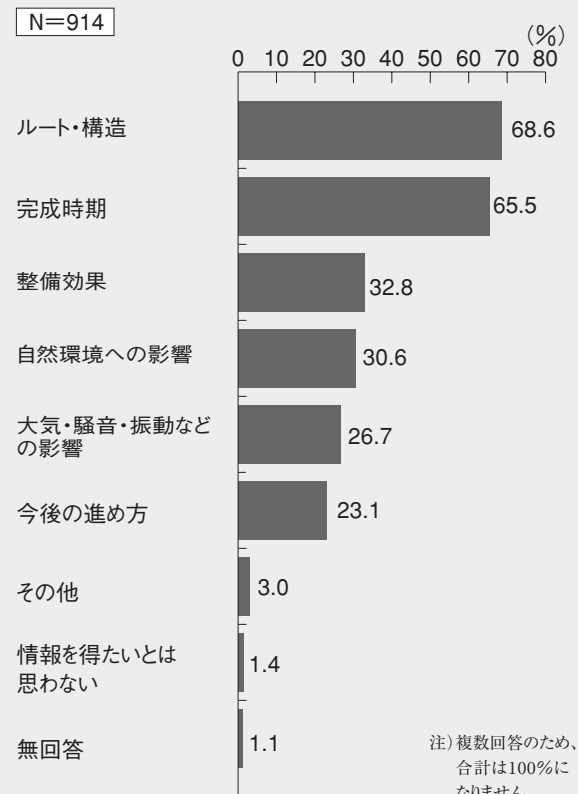


(仮称) 横浜環状北西線の知りたい情報について
伺いました。

(仮称) 横浜環状北西線について、得たいと考えて
いる情報内容は——

- ルート・構造 68.6%
- 完成時期 65.5%
- 整備効果 32.8%
- 自然環境への影響 30.6%
- 大気・騒音・振動などの影響 26.7%
- 今後の進め方 23.1%

問3-2 (仮称) 横浜環状北西線について、どのような内容の情報
を得たいとお考えですか。次の中から特に知りたいと
思われるものを次の中から選んで○をつけてください。(複
数回答可)



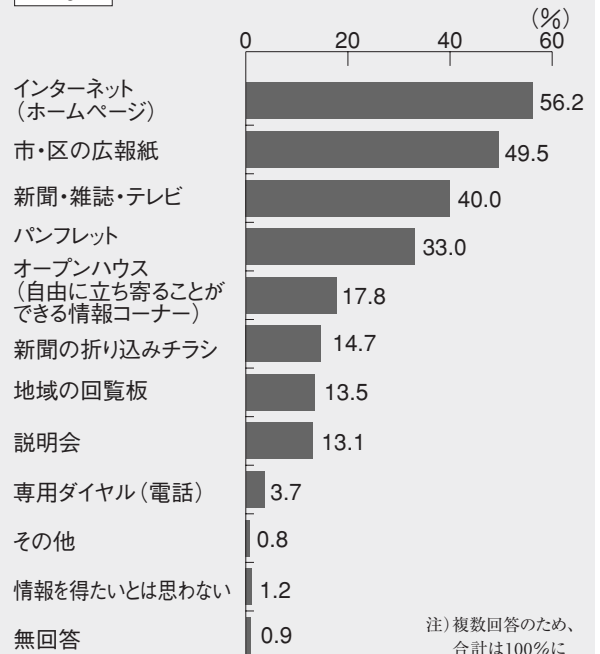
情報を得たいと思う手段は 「インターネット（ホームページ）」が約56%。

検討を進める際に情報を得たいと思う手段は——

■ インターネット（ホームページ）	56.2%
■ 市・区の広報紙	49.5%
■ 新聞・雑誌・テレビ	40.0%
■ パンフレット	33.0%
など	

問3-3 検討を進める際に、どのような手段で情報を得たいと思われるか。次の中から特に情報を得たいと思われる手段を次の中から選んで○をつけてください。（複数回答可）

N=914



注）複数回答のため、合計は100%になりません。

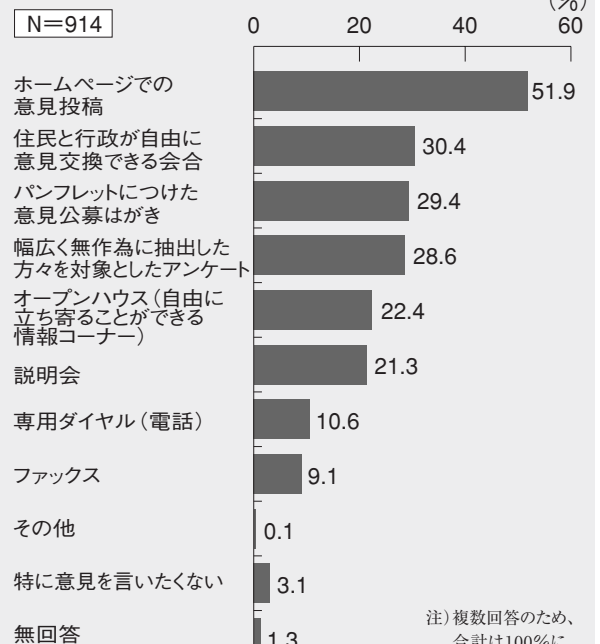
意見を言いやすい手段について伺いました。

検討を進める際に意見を言いやすい手段は——

■ ホームページでの意見投稿	51.9%
■ 住民と行政が自由に意見交換できる会合	30.4%
■ パンフレットにつけた意見公募はがき	29.4%
■ 幅広く無作為に抽出した方々を対象としたアンケート	28.6%
■ オープンハウス（自由に立ち寄ることができる情報コーナー）	22.4%
■ 説明会	21.3%
など	

問3-4 検討を進める際に、どのような手段であれば意見を言いやすいと思いますか。次の中から選んで○をつけてください。（複数回答可）

N=914



注）複数回答のため、合計は100%になりません。

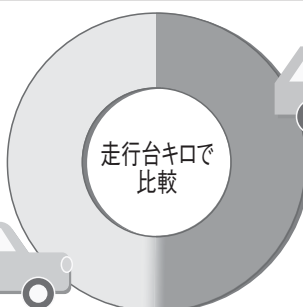
〈参考 1〉 (仮称) 横浜環状北西線 概略図



〈参考 2〉 横浜市域の交通の内訳

横浜市内の交通の約半分は
業務用車両です。

自家用車両等
(通勤・娯楽など)

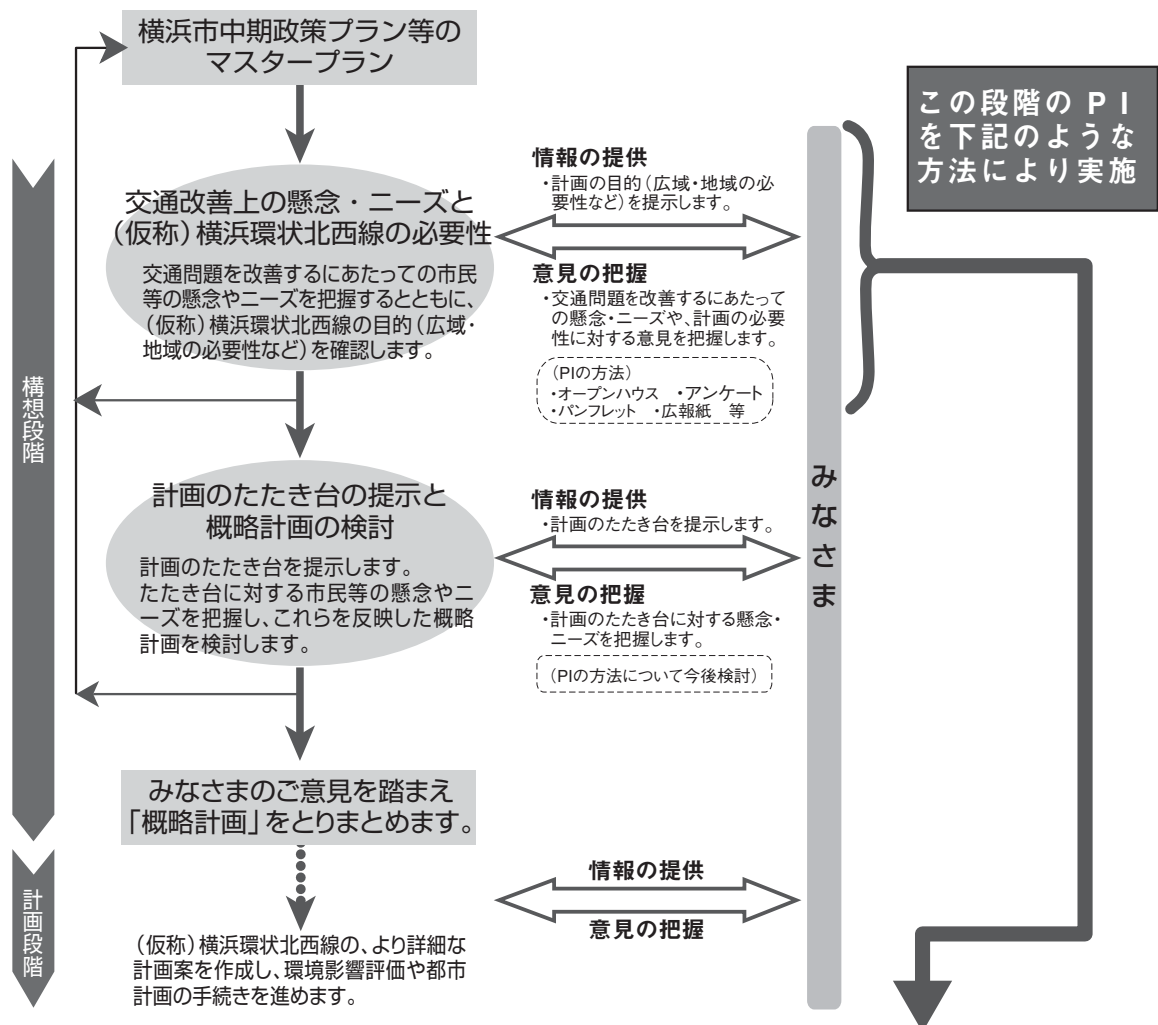


業務用車両

〔出典:平成11年度 道路交通センサスより〕

〈参考 3〉（仮称）横浜環状北西線の計画検討の流れについて

（仮称）横浜環状北西線の計画検討にあたっては、計画づくりの初期の段階から、市民等のみなさまに情報を提供しながら、広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映させていく新しい取り組み（＝P I（パブリック・インボルブメント）手法）を導入しています。



P I の手法		内 容	実施期間
情報提供	①オープンハウス	横浜市と国土交通省の担当者が常駐し、市民等の方々が気軽に立ち寄り、閲覧や問い合わせ及び意見を述べることができるコーナー	7月中旬～11月下旬にかけ13箇所のべ22日間開催
	②ホームページ	（仮称）横浜環状北西線に関する情報を提供し、併せてご意見もメールで受け付け URL: http://www.yokohama-nwline.jp/	6月下旬より開設
	③パンフレットや広報紙（「であい道」）	区役所等の公共施設の窓口にて提供（「であい道」のみ各戸配布）	7月上旬より提供
	④ポスター掲示	区役所・地区センター等、計33箇所で「（仮称）横浜環状北西線」に関する情報を提供	11月上旬より提供
	⑤記者発表	計画検討着手、アンケート調査、有識者委員会開催のお知らせ等、5回実施	6月下旬より
意見把握	①オープンハウス	上記、「情報提供①オープンハウス」と同様	
	②アンケート	横浜市民及び横浜市域の事業所等を対象にアンケートを実施	10月下旬～11月上旬実施
	③事業所等ヒアリング	横浜市域の事業所等を対象に直接伺いヒアリングを実施	11月上旬～12月上旬実施
	④意見募集はがき及びメール	パンフレットに組み込んだはがきや、上記ホームページにおいて意見を募集	6月下旬より実施
	⑤フリーダイヤル及びFAX	専用フリーダイヤルを設置し、意見を募集 0120-875-805（FAX兼用）	6月下旬より開設

平成15年12月発行

横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
電話045-671-2735 FAX 045-662-3945

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査第一課

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2
電話 0120-875-805 (FAX兼用)

横浜市広報印刷物登録 第150503号
類別・分類 B-JE121